

平成五（1993）年 降矢 93歳

185 (1/1) 頌春 献寿

神代の天の岩地開きの際 恩金の神は常世の国の雉を集め鳴かしむ
今・東天紅と雉鳴いて 年明くかどうか 平成の世の岩戸開きであつてと
低迷から明朗な世の開幕に期待しませう
癸酉 元旦

186 (1/8) 雪もなく 奥郡内は 山眠る

七日門松をかたづけ朝からの雨になりました。暮から雪を怖れてせつせつとしていましたが、雪は降らず、全く自然法則が狂って来たようです。と
いって、今後は何れ寒波や積雪もあるでせう。元旦から山着で、日中は仕事（運動）です。それでも段々衰えもきます。
元旦の夜は、年に一度揃ふ兄弟三人の子供が遅くまで酒宴で、楽しそうでした。私は四五年加はず、炬燵です。酒は駄目ですからね。貉のおやじの如くで、人目をさけて日向です。今日は半月ぶりの休日、炬燵です。頭の運動にて午後は元気を出し、書こと読ことした次第です。
八日雨やみ晴ました。月末頃 近くの民宿・阿知河原（古家実氏）の炬燵で盟友二人を招いて、ネパール蕎麦の試食会を考えています。古家氏とは畑つづきで農友であり、句友の後輩です。

187 (1/18) 猪熊の 騒ぎ談義で 雪となる

十五日 雨から本格の雪になりました。ご健勝ですか：
十七日は珍しく快晴で 南面の山肌が雪は消え、北面の一部は根雪になるでせう。炬燵でこれからは冬眠ですね。三月半ば迄畑は休みです。それ迄体調を崩さねばと思います。元旦から二日、紺碧に澄んだ清浄な空をはじめて見ました。西原は県下でも星の美しい空だと思ふ。まだ見ぬ白山山地のブナ林、屋久島の杉の幻影を追います。ネパール蕎麦の試食会を三人の友と廿七日に、民宿阿知河原で催すことにしました。
賀曾利さんは月末インドシナから帰国の由 木俣さんは初夏 中央アジアのキビ・アワのふるさとへ きつと何かを私にももたらしてと思います。無聊のままあれこれを

188 (2/8) 立春になりました。残寒ということとせう。暖冬だったとは

云えども 十五日以後は雨が多く、雪は降ってもとけて積もりませんでした。十五日以後は冬籠りで、ここ晴天が続き、日向にトレーニングとして仕事に掛かったが、足腰は弱っていて閉口です。廿七日 阿知河原民宿で三人程の友人と試食会（ネパール蕎麦）四年がかり、西原一号として好評でした。異国のものでしたから、私も試食を二回済ませてからでした。
五十日位経ると、春本番の仕事ですが、旧で三月は閏月があるので、平年より遅れるでせうか？ 平凡な毎日です。

189 (2/26) 奥郡内 ちらほらと梅が 日がのびて

二月は雪の降らぬ 初めてのことで。乾燥しました。雨が降ってより、寒が戻り凍ります。ご壮健とは思いますが、たいへんお仕事忙しい様子。三月になりましたらどんな気候になるか、三月一杯は雪が降るかも知れません。秋は山百合を食べようと探し歩き、やっと植えました。ノラボウの厚蒔きして十五センチくらいのを二月上旬より間引きして食膳に出します。

190 (3/10) 暖冬ですが乾燥して風が吹き、老人には寒く 雨も降っても半日

露の臺も日向は早い枯れたごとく、やっと日蔭の水々しいのが採れます。桜が早いといふ。もう三月も旬日です。当方は梅が三分咲きです。もう雪は降らぬか、異常時代ですから、三月はそのまま続けばやや早めに農作業にかかれます。彼岸を中心です。ノラボウ遅蒔きでしたが二月中旬より間引き食べています。定植したのはまだです。ホウレン草失敗して二月下旬からやっと採れます。鳥やけもの達と共有の時代で、越冬の青菜類は鳥がつきます。玉葱どうやら越冬しました。カラッ風が吹き暖の割に、発育はみんなまだですね。
秋から初冬、冬眠前は熊が出没します。猪も出る様子です。武甲トンネルを越えて桐原は猿の群がでた様子です。山百合を来る冬はたべようと、やっと山から集め試作に植てみました。カタクリの生えたのに出逢いました。花の咲くのは四月になってからでせう。
私も体調は悪いので、もう一年町までも行かず、老いてきました。強がってみてもだめですね。テレビと新聞を見るので退屈もしませんが、素晴らしい『東京の遺跡散歩』刊行早々に戴き感激致しました。私の教科書であり、この刊行に遭うことのできたことを幸福に想う次第です。厚く御礼申し上げます。テレビで毎週小さな旅を見て満足して、遺跡散歩も恰もその一部の如くです。 今日十日 雪がチラツキ出しました。

191 (3/19) 三月は不順な天候になりまいた。・・・十三日雪積雪やや五cm十五日雨小雪 十六日曇から小雪で、冬が戻ったようで、又半分冬眠です。・・・本格に農作業開始の時期ですのに鶯はまだ鳴かず、二月の見込みより七、十日位は遅れでせう。私が心配していた予想になりそうです。四月になっても半ば迄は雪が来るかと思えます。

カタクリが芽生えましたが雪でどうなったか、雪より雪後に晴と朝冬の如き寒と水滴で凍り、雨水とでもいうかそれが恐いのです。梅の花もやられます。早掘りように孫達に食べさせようと、鶯が鳴く前に僅か馬鈴薯を作りました。是は発芽頃、晩霜でやられるかも知れません・承知の上です。

今年は何回あるのか、三月が旧暦では長い訳です。

暇ですから戴いた『遺跡散歩』を丹念に拝見、先年ご案内して戴いた遺跡庭園感慨深く思います。又縄文遺跡が都内に多く、私は五六千年と想っていたら一万二千年頃から遺跡があることに驚きました。縄文時代に関する私の思いが違ってきました。長生した甲斐がありました。科学の力の進歩も人の知恵も驚きです。腰痛が足にも来るのか、歩くことが段々つらくなり、弱りました。車のつかえぬ老人ですから、ダメですね。・・・

畑続の古家実さん(農友 後輩六〇才位)畑でお互いに話、西洋ウド(アスパラ)の苗を貰って植てみました。山百合も探して、試作してみました。・・・孫が無事進学になり 次男が中一、末娘が小二です。

192 (3/29) 彼岸ゆき 閑伽桶のみず つめたかり

実は都合が悪かった四月に蒔く多摩遺跡公園の庭に植る雑穀の種をお送りするので、荳ゴマ・ネパールソバ等は畑隅に蒔き十五センチ位の時 定植で苗床は尺四方あれば充分ですよ。今年は何を植て戴たい。稗は中国・日本を含んだ処が原生地のような気がします。ワレモコウはポットに植えてありますが、新根が張らぬと送れません。他に必要な種がありましたらお知らせ下さい。四月十日頃植える予定です。

193 (4/8) 花かげや 人の明暗 よどみなく

四月になりましたら、春らしくなったと思うと又、四日は雨から寒波が来ました。花の世を皆お忙しい様子ですね。

三日廿日やつと鶯が鳴き、カタクリも咲き出しましたが桜はまだで、十五日頃か? 雑穀類は例年五月に入り作ります。ゆっくりご都合して、お出掛けください。

五月上旬頃の晩霜を心配しながら 時期です。馬鈴薯を作り、里芋・葱も植えました。四月に初めて紅花を蒔きました。試作の大根・小蕪発芽で 近日本格に作ります。・・・墓へ秋の彼岸に行き春の彼岸に行き 半年振りでした。それでも暖になることは嬉しいことです。

194 (4/19) 山裾や 迎えし友と カタクリを (早春の花が四月半ばとは、珍しく満開でした。今日はコブシの花も満開です)

好日のご来遊で何よりでした。奥様とご対面できて何よりで、初対面と思えず親しめる事も妙ですね。機を得てまたお出掛け下さい。

十八日は夏日の如く暑になり 春爛漫で、桜が八分咲きました。カタクリは恐らく萎んだでせう。平年に(遅れ約十日)でせう。十七日トウモロコシ作り 十七日は学芸大の木俣先生アフリカガーナのトウジンビエの種寄贈、十八日苗に蒔き本年は鉢植え、二年後試食迄と挑戦です。

195 (4/22) 四月廿日(火) 午後十時頃 火災発生 中川勇さん(中川園)隣の

中川政徳さん宅と隣家三軒が焼失 約十一時半 出火原因は中川政徳宅の風呂の火の不始末でした。あの夜は風も無く静かな夜でした。あつという間の全焼で、体だけ逃出すがやつと思えます。私は、夜間は危ないので、家の庭で見ている丈でした。倅夫婦が駆けつけた次第で、嫁は婦人消防団員です。

十六日訪問がおかげで最後であった訳です。翌日も一切は倅に任せて、私はまだ見舞いに行きません。聞く処、中川さんは八王子市の子供か兄弟の家に行つたともいふ。

当分は間借でもして、復興にかかると思っています。ともかく(訪ねて・・)僅四日後の事で、私も驚で、動じない私も狼狽いたしました。手落ちなく倅夫婦がやってくれるので、私の方は安心です。

急激に春たけなわで、桜・桃・コブシ・岩つつじが満開です。然し、花かげに絶えず人の悲しみ 喜びは繰返されます。四月入り 雨が霧雨位です。乾燥で作物は発芽もせず、植たものも半枯れで、いずれ雨期が来るでせうが、ここ除草だけで農耕進められません。

196 (4/24) 花の春 ちるもさけるも 慌しき

桜が散り、李が咲きました。萌芽に忽ち変わるでせう。

瞬間の出来事の中川さん宅火災は後が大変のようです。悲惨というか悲劇というか 中川さんも心身とも打撃は大き過ぎます。八王子から戻らねば見舞いにも行けず、復興の前途も多難でしょう。廿二日午後より恵雨です。きょう夏日です。

197 (5/7) やまぶきや 山裾の家に 咲き盛る

平年に復そうと慌しい自然の輪廻です。拙宅も昭和十九年類焼して、私は五十年かかって完成やら致した次第で、まだ家具 道具 不備なものばかりで、実に厳しい生活で(したから)人ごととは思えず。私には若さがありました。つばめがまだ来ません。一週間は遅れているようです。四日より畑です。世捨人ですから連休も無しです。

198 (5/12) のらぼうの どうたち蝶の もつれかな

連休終り若葉から青葉へ それでも平年より遅れています。晩霜が無く安心しました。皆さん達は忙しい連休だったと思います。中川園ではプレハブの仮住宅を仕上た由 中川さん夫妻健康は良好なればいいが 季節の変わり時か、私も体調悪く難渋しています。三日より畑です。何処も出かけず。

男の三兄弟が頼母しく、三日夜は水入らず呑んでいました。見る親の満足で、四日は午前中にそれぞれへ
十日は静岡より新茶頂戴 ああ夏かと思いました。雑穀の作る時期で忙しくなりました。五月十一日 燕がやつと来ました。半月遅れです

199 (5/24) 柿若葉 寺の鐘なり 友の葬

「小さな蕾」村山先生の人柄が偲ばれる書、良き人との出逢い何よりです。どこか洒脱の面もあるようですね。

骨董品や焼物の事も判らずですが、滝川・金子さん達の作品はじめて拝見ビックリしました。お二人によるしく。全く野人の私は恥かしい次第です。中川さん宅へはあまり行きません。プレハブ仮宅に兄弟で住んでいる様子。中川さん夫妻はまだ戻らぬ由、焼失後へ尊いご配慮、誠に人の真意に打たれます。気候不順からか病人は多く、葬式も多く、廿二日は又 同級生病没、生き残り三人です。

廿三日 さつまいもツクバコマチ 挿しました。里芋芽を出す。馬鈴薯蕾を出す。

友人からもらった牡丹咲き出す。廿一日 吾亦紅一鉢寺へ寄贈。筍の不作も疲れから風邪の精か 口熱で歯茎はれて泣面です。

200 (6/2) 苺うれ むぎわら帽へ 摘んで

栃の花が咲きました。縄文村の栃も花が咲きますか？雨が乏しく乾ききった畑に甘藷植え、ビンで運ぶ水でやつと根づかせました。キュウリも南瓜も育てるに大変です。雑穀の発芽もだめです。それでも試作のトウジンビエは近日鉢に植えて種を確保するつもりです。昨日は降りそうな見幕になり、遠雷をきき、古家実さんに西瓜苗をもらって植えたが 雨は降らず。知つての通り私の畑は照りに弱いで苦勞します。里芋が芽を出し、摘みました。

201 (6/8) 馬鈴薯の花咲きそめて みなづきへ

六月一日 松蟬鳴く、四日 時鳥・郭公鳴く、三日 当方は細雨のみ、五日 夕方より六日 午前中迄小雨後曇 久し振りの湿り・・・五日夜の雨で生気戻る。試作トウジンビエ四十五日苗を鉢二ヶ、畑七株植える。実が入ればと願っています。中川さん帰宅 畑に出る様子 皆さんのご健闘をお祈りします。私は頑張れなくなりました。農七十年の疲れが来たのでせう。

202 (6/22) あじさいや 病んだ日のみ よみがえり

夏至になりました。六月五日より雨も有り、高温で作物の成育が良くなりました。トウジンビエ四十五日苗を鉢に四ヶ、畑に八株試作、良好で秋の完熟が楽しみです。玉葱は冬の乾燥で思ったより減収 馬鈴薯六月一日より食しています。又豊作らしい。穂もろこし四十五日苗植える。シコクビエは五十日苗植ます。信州早生そば 六十日で実がつきはじめました。刈り取ると七十五―八十日でせう。木俣教授 中央アジアへ十八日出発

筋肉痛に苦しみながら畑です。珍しい雷雨に終日休養 畑の近況迄

203 (7/3) 深梅雨や 友の送りし 桜ん坊

雨が四カ日間、退屈な私で、健忘症や筋肉痛だんだん強く、耄碌するということとせう。八十八夜が起点で半夏生が終点の秋作の蒔付 植付です。

204 (7/13) 相変ず梅雨空が続きます・・・私は休日(雨の日) 退屈で、来る人も無し、尋ねる処もなし、今になり勉強です。古い高校生の地図帳みつけ、

アフリカやインドを調べますが。健忘症が強いので駄目です。トウジンビエの

事を学びたいからです。

サワラ砂漠南縁で発生した五〇〇年前頃でシコクビエと同時代の由で、雑穀で六番目の重要雑穀類とのことで、四〇〇〇年前頃、インドの北西迄は伝来したので、それから東へは進まず。シコクビエは縄文時代には日本に渡来しているのか、なぜか風土に適さないのかアジア人は嫌うのか、きつと種子は来たことはあつたと思うが、それで私は挑戦したんですが、未知のものは判らんことばかりで、賀曾利さんにも聞けばよかったです。

トウジンビエ・・・現在は分ケツ多く、葉は広く蜀黍に似ている。草丈高くなりそうで一株二本位にする予定です。完全に完熟すれば二株分もあれば充分ですが、草丈が判明すれば株間とかサク幅も判り、直播では厄介ですから苗仕込みで移植です（来年のこと）。

ネパールのそば四年かかりましたが、春蒔き種か秋蒔き種か不明で苦労したんです。普通そばの約倍の日数を要す。今年は雨で、七月三日で十五糶位の処を一本か二本植えます。八月に入ってから、ジャガイもの後作にはいいが玉蜀黍の後作でないと畑が空かです。信州早生そば 四月蒔き近日常取り 雨で不作、五月蒔きは只今花盛りで、秋蒔きは八月立秋頃です。何としても僅の面積しか作れません。老夫婦丈の仕事です。

十一日（日）倅が珍しくジャガイも運びを手伝って呉れました。私の体調の悪いのを見て初めての事で、午後から掘れば大半終ったのですが・

205 (7/20) ほおづきの まだ青くして 夏若き（九日は浅草のほおづき市
ですが、ま

だ青です）

今日十九日 賀曾利さん中川園への御見舞いに、拙宅へも来訪されました。帰国後間を置かず、オーストラリアへ行った由、まだ忙しい様子、秋再会を約束して辞去。

低温で細雨や霧で、梅雨明け待ち遠し。紅花開花しましたが花の採取できず残念です。作物成育進みません。廿日は土用入りですね。

次に、十四日 元参議員勲二降矢敬雄先生死去 西原の生んだ偉大な人物で、西原では二度と求められぬ方 十七日葬儀で 拙宅の上の家ですから大変で、然し私は老体なれば家に居りました。倅が司会役で苦労した様子。十一日（日）から今日迄に五人死にました。最悪の年でせう。

206 (8/2) 山の百合 匂い漂う 霧の里

廿五日頃よりやつと夏らしくなりました。方々で夏祭りや夏の運動の盛なこと。日照不足が長かったので、まだ山百合が咲 紫陽花が満開です。 中川さんは病院に通っている様子、私は思う丈です。不順の精か人もよくなり、私も衰えました。侘しいことですが、天理でせう。

玉蜀黍がやつと熟そうとしてきました。関東が一番平穏な夏ですか。是から秋迄は心配

です。野菜も作物も凶作という年で草が茂るばかりです。

意外です。トウジンビエが廿日出穂はじめました。私が思ったより草丈は短い。穂もろこしに次ぐ高さです。きつと完熟すると思います。台風で折れぬよう支柱を添ました。播種より一〇四日です。九月中には熟す勘定になります。一六〇日で収穫ですか？

207 (8/13) 立秋や トウジンビエは 出穂して

十日も低温 午後より十一日朝迄雨。十一日雨止み 何日振りが晴天になり、日中気温30度以上 暑さになれず大変です。さて今日十二日はトウジンビエの写真早速に戴き、よき記念にて、折がありましたら知人に送り度く、是非四枚焼増しを願います。 中川氏に三回目で逢いました。予想より元気で何よりでした。 当方八月お盆です。

208 (8/19) 夕蟬の 送り火たける 軒で鳴く

十一日より三日晴れ夏らしかったが、又日照不足 雨と霧で冷夏はつづく、秋そばも秋野菜も時期が遅れます。お盆も低調でした。西国は豪雨ですが、大雨がない事が救われませう。 ゆっくり熟睡が得られるようになりましたですか？ 私は退屈な日が続きます。賀曾利さんが冷夏の東北を旅した由で、矢張り不安な秋を嘆けるとの事でした。

紅花は花が摘みませんでした。玉蜀黍は上作でした。妙なのは南瓜の豊作です。里芋と甘藷が元気で、何処の家の畑も雑草が茂ります。 せめてトウジンビエ丈でも満足に実が入ればいいですが。 既に秋の気配が迫ります。吾亦紅の花穂も出 秋草が咲きます。

209 (8/30) 嵐過ぎ 空の青さよ 吾亦紅

全く関東から東北の冷夏は大変ですね。・・・ご忙殺中を身勝手なお願ひ申して恐縮でした。記念の写真重ねて有難く戴きました。 冷夏ながら出穂が早いからトウジンビエは実が入るでせう。・・・台風は幸いに無事通過でしたが、

暑いといつても、既に秋です。吾亦紅が咲きました。

210 (8/30) ほおづきが赤く、吾亦紅が咲きました。

今年は気象庁が梅雨明けを取り直したが、九月になつても梅雨が明けぬかも知れず。晴れ日は僅かです。・・・九月三日 甘藷 初掘りしました。結構な出来栄でした。彼岸から収穫します。天候が安定は十一月頃でせうか。まだ台風あるでせう。せめて霜丈でも遅れることを願っています。六日より気温が下がりました。越冬野菜類を蒔いたり、植え付けですが、仕事の予定が狂います。九月は祭りの月ですが、私には無関係です。旅することは不可能ですから、時々テレビで代りに旅をする次第で、奥羽山脈や北アルプスの四季等は満足で、特に(ヨーロッパ)アルプスの氷結より所持品も揃って石器時代のミイラの出現でした。

211 (10/4) 祭り過ぎ こおろぎ鳴きぬ 夜となりて

九月の祭りも終わりました。全国的に凶作の秋です。夏の無ような年ですから仕方ありません。農人は淋しい秋です。次に里芋は仔が膨らみませんが、沢山穫れますから、暇がありましたらお出掛けください。天候は多少平年に戻りそうですが、まだ不安定で寒が早いようです。強気の私もめっきり老化しました。

212 (10/15) 山蔭の村に秋が来ました。幸いに九・十日は快晴のふるさと祭りに恵まれ、何年振りかで私も前夜祭に行き、一時間清流の川をはさんで長く

続くあんだんの灯が印象的でした。翌十日も晝二時間見学に行きました。お神酒の駄目な私は、お祭りは苦手です。不況―凶作で何処も暗い様子です。桜と櫛が色付きはじめました。珍しく四日間快晴です。干柴刈と僅かな秋の収穫です。雨になると晩秋の如く、北海道には雪が降りだした由、西原も遠からず霜が来るでせう。全くみじめな百姓です

213 (10/15) 柚味噌の ほのぼのと 友のあり

先日は好日快晴で何よりでした。あの日はあれより雨後ですから遅々の玉葱植えて、苗は悪く見込み無ですが。晴日が続きますが、捻挫なかなか治らず苦しい毎日で、ネパールそば大当たりです。収穫は大豆のみ。

214 (11/9) 日和から八日はしぐれの一日になり、落葉しげく晩秋になりました。

た。お写真有難う、面白い風景になりましたね。漬物にも手を出すのですね。味よく漬かれればいいが、秋野菜は昨年より豊作で使いきれません。やつと収穫終ります。

捻挫は治らず苦労しています。足を引きずりながら 僅ずつ収穫後を耕しにかかります。もう十一月も半ばになり、正月が近くなり、全く慌しい。・・・木俣さんから便りが無いが、雑穀全国大会は東北か九州の筈です。トウジンビエの経過を報告するのですが。ネパールそば豊作でした。シコクビエも平年作になりました。

215 (11/24) 大根を 抜きつ雪虫 そつと追う

廿日 雨です。・・・ここ平年より暖で 廿日に小雪が来ることはありません。収穫の取り上げもやっと終了、秋野菜も八分収量終了、越冬野菜丈になります。大根も白菜も大豊作で、痛む足で苦労しました。紅葉が美しいが私は散策もできず、テレビで各地の秋を眺めます。芋煮会ではなく、けんちん汁会が流行っています。師走がすぐで寒くなるでせう。

216 (11/27) 寒波により急に平年並みの寒になりました。・・・山蔭の村は寒

いとつらい。木俣さんから中央アジアの事、その後の事を伺いました。撮って戴いた写真雑穀研究4号に使う由。農人ではトウジンビエの先駆者かも知れません。金子さんは(木俣さん主催で秩父での)のびと養成講座の縄文土器の講師だったとか、安孫子さんと同じく真剣に取り組んでいるには敬服です。私も杖をつき足を引きずり、畑に立ちます。

217 (12/2) 霜柱 踏めば足への 冬の感触

十二月になりました。何やら心忙しい 土日も返上の忙しさのご様子です。安孫子さんも木俣さんも同じです。木俣さんも隊長で行った中央アジアの収果の展示会や講座やら、記録刊行等。安孫子さんに撮って戴いたトウジンビエの出穂 雑穀研究4号に採録の由、種を所望した御礼ができます。

畑が凍らないうちに収穫後の畑を冬耕です。私は日を楽しみながら、雪の来ない間は、暮も正月もなく日中少しづつ仕事ですが、びっこをひきながら、しごとは残るばかり、来春が心配です。

一月十五日は秩父で野人(のびと)の講座で栃餅作りと野焼き、金子女史講師でせう。阪本先生退職すれば木俣さんが雑穀界の統領でせう。木俣さんはやがて退職すれば、秩父の山で山村人になり、雑穀作りを夢見ているようで、私とどこか同臭の処があります。滝川女史もやっていますね。雪虫十一月十五日に飛び十二月まだ飛んでいます。

218 (12/13) 冬至が迫り 寒と共に心忙しい折から珍しい蕎麦発見 種子と又わざわざ植物事典一部まで添えご送付御礼申し上げます。

この蕎麦に対して聴いた事も見たこともありませんが、野生で虎杖程の大きさとは驚きで、事典により二年生の蕎麦ではないでせうか。ヒマラヤから中国大陸へかけて分布する多年生の蕎麦の類のように思えます。誰かがブータンには宿根の蕎麦があると聞いたことがありましたが、そんなバカなこととは気にも留めずそのままでした。

木俣さんなら知っているかも知れません。一応、近くの鈴木さんにもお尋ねしては如何でせう。それにしても不思議なことで、どうして生えたのでせう。実を見たところ食べられそうな蕎麦科ですね。どこか私の作っているネパールのそばに類似している気もします。この道の専門家でないと判りませんね。・・私が丈夫ならばその蕎麦の自生地を観たいですが、及ばないでせう。一年性が二年性が判ると思います。自生として粒から一年で巨大になるとは、今後調べてください。秋蕎麦でせうが、粒から完熟まで日数が判れば試作も楽です。先年のネパール蕎麦はそれを知るため三年かかりました。共に新話題として研究させよう。最初の年は春五月と夏七月と二期作り、種から完熟期を求めます。おそらく晩成で山蔭の村 西原では霜が早いのでどうなりますか。ネパールのそばの経緯を参考にしても三年か四年経なければ試食迄には達しないが、老人の私には、そこまでは及ばないかも知れません。ネパールのそばは、苦みと野生特有の滋味があり、試食を繰り返して、小麦粉一〜二割も入れるとよい蕎麦切に仕上がりがり、そのもの丈では味が悪いです。色は青味を持ち、実用まで六年かかりました。

平成六(1994)年 降矢84歳

219 (1/10) 松とれて 寒さひしひし 山の村

晴日で遊んでも居られず、種ものの整理収穫したものもすこし始末しました。トウジンビエ八株で収量三合ありました。ネパールの蕎麦は作る事も食べる

事も上手になり、六升穫れました。玉蜀黍や蕎麦を頼んで粉にしたり、穂もろこしは精製する量になりました。雪は降らぬが寒く足腰は痛みます。歩行は楽でなく、何処へも出かけません。・・奥秩父ののびと講座に使うかどうか? ジャガ芋を一箱届けました。

220 (1/18?) 天の意と トウジンビエの 実り手に(写真アリ)

(玉蜀黍の粉、蕎麦粉、馬鈴薯に同封)

乱雑な種子類の整理で 流石に人眼につく処では仕事も出来ず、毎年鼠に種を荒されるので、空き缶に保存することにしました。

十一日から雨 雪も交り、変化の多い天候になりました。十四日 雨が雪になり、約一〇センチ積り、寒くなりましたが、十七日は雨で雪は消えました。暖冬といふことでせう。

パミール高原越えた北側諸国へ木俣さんは 賀曾利さんは、今度はパミール高原の東南に当るか中国奥地のタクラマカン砂漠へ アフリカ・インドを学んだ私はヒマラヤの遙か彼方のパミール付近の勉強です。十七日夜は、タンザニアの大草原をテレビで見ました。老人の勉強は大変です。

例の巨大自生蕎麦 暇な折 一度調べて戴きたいですが 野生で何本か生えていたでせうか 多年草としたら昨年実をつけたのは枯れ もし昨年生えた花の咲かないものは葉も落ちてきつと茎は生で本年葉が出、芽のび花が咲くと思えます。付近に残ってはいないでせうか。一年性にしては巨大すぎます。私は戴いた種四二粒ありまして、秋蕎麦は判りますがネパール蕎麦如くと思つて 春五月に作り、夏七月初旬にと二回に作る予定です。そばは、普通は七〇〜八〇日で、ネパールのそばは一一五〜一二〇日です。・・・

(同封の)玉蜀黍粉は小麦粉に二三割入れて、餅かまんじゅうにしてそのまま食べるより、味噌塗り焼いて食すが美味。又焼餅といって炉の熱い灰に埋、ゆつくり焼たものが昔の焼餅です。白米に粉を加え粥に煮てもよく、昔は粉丈で粥を造るおねりで食べ、是に南瓜・さつま芋・小豆を入れることもあり、塩味場合もありました。

221 (1/24) 成人の 日祝ぎうららか 吾子ありて (安孫子長男に)

巨大蕎麦の正体 鮮明に大変なことでした。小石川植物園で栽培しているとは老人も及ばず。丁度ウドやアスパラと同じ宿根の如くで、そばを蒔いてでなくそばの木を植えるといふことですね。種は五月蒔て 翌春この苗を定植する予定。生きていれば不思議なことに出遭います。

本年も高幡へ行き求められた暦 有難く戴きました。・・・寒中は寒いことは豊作型ですが、老人は耐えることは大変です。私の冬眠期ですが運動不足が心配です。

222 (1/27) 寒中の 見舞いと友は お魚を

朝は〇五度で北面は根雪になりました。私淑する権威者の方々は寒さの折もお忙しい由、私は冬眠の生活で申し訳ない気がします。・・・休養が祟り足腰の痛みはまして春が心配です。

雑穀の起源の国を地図で探したり、テレビを見たりです。ここまで来ると天意に従うのみです。

223 (2/10) 寒明けて 裏へ日脚の そつとさし

寒が明けホツとしました。でも暖かさは一進一退ですが日脚の伸びは心強いことで、四〇日経ると畑です。今度は秋田ですね・・・秋田といえれば四〇年前、私が句をはじめた頃の句友があり、老人でした。大館だったと思います。

「税額 葱坊主だまっ●●る」私の句で自由律で、この句が縁でした。何年か親しかったんで、その後他界。税の騒ぎの時代で今日も変わりませんね。昭和の初めか、外米を食べました。ラングーン、ミトン、台中で粟飯よりまずかったです。今度はどんな味でせう。

陛下が硫黄島への報道に愕然とした私です。あの南海の孤島 水のない島二万の英霊地下感激するでせう。私もこの島に勤務 封鎖前十月 戦病で送還されて今日があり、感動新しく、三つの思い出を・・・

224 (2/21) ご多忙の処 縄文文化に付き三教授の対話有難く存じました。私の

思っている縄文時代はとても長いことは、遺跡散歩で知りましたが、二千年の歴史より一万五千―二万年に及ぶ縄文時代とは驚きです。私が老境になり、虫・小鳥や自然の観察が農耕には大切を知りましたが、縄文人は極めて発達精通していたですね。それが第六感とでもいふか、丸で虫や鳥けものの如く、自然の運行を利用したんですね。お陰で博学になりました。とても尊いことです。が、広大すぎて学べば更に深く深く宇宙のようですね。邪悪のない清い人間であつた気がします。

そばに対しても二回に及植物字典のコピーで委しく知りました。私ももう十年若ければと思います。雑穀の起源地を地図で探したり、近頃珍しい出土品が絶えず、テレビ新聞報道されるが、学んでも頭が老化してきて覚えが悪くなり

ました。

十二日の雪は東京並で二五センチでしたが、翌日は強風や曇がでて融けず、寒は戻り 十八日 日向の平面迄消え北面は雪です。それでもまんさくが咲きはじめ、紅梅も綻びはじめ 東風吹くですね。後一ヶ月で畑ですが、本年はどうなるですか。 今日農協に行くと春野菜の種が入荷していました。

硫黄島のことは悪夢です。何しろ弱身の第二国民平兵が灼熱の孤島でしたからたまりません。海軍の整備兵でしたから 帰りの海上トラック(荷物輸送船)で航空隊は島の浜辺に近い空港ですから送還されるによく、陸軍は山の上でしたから同じ兵でも(送還は・・・)不可能でした。それだけ運があつたんです。病院五カ月で再起して 大分空港で終戦でした。終戦の夕方、司令官宇垣纏中将は特攻機で突入(沖縄)したんです。ですから空港も後は騒でした。

私の過去は苦難のみです。二四歳で父の死別が出発でした。應召中に家が焼けあの物資のない社会福祉もなく、まだ自動車通らぬ時代の復員で、荒た畑はあるが農具も整はず、入植移民のようでした。ですから妻子も苦勞させました。昭和三六年 私が病気で半年入院 長男一〇才で一ヶ月妻の手厚看護で再生したんです。以後三年がかりで本復したんです。ドン底時代で 部落で一番の貧乏暮らしで、妻等は向かって没落(つぶれる)といわれた程で、辛苦五十有余年 それでも自力で更生しました。 私は先祖の積善か、自分の努力又天意か六十年の不遇から抜けて、晩年は人に羨望されるようになりました。御礼が懺悔録になりました。

225 (3/7)

桜開花予報が発表された翌四日 雪五センチ積っていました。こ天候は悪く、快晴はなく、曇多く夕方は小雨や雪がチラつくのです。

さて、秋田市での「土偶研究会」盛会の由。六十年 歯を喰いしばつと苦難のドン底から這出した私は、ずいぶん妻子にも苦勞を掛けましたが、やつと今日に至りました。床場に行ったことも無く、妻に半襟の一枚買ってあげられね貧しさでした。自力で黙々六十年、過去は悪夢です。今日では同輩で一番の果報者で羨望の一家となりました。然し代償として私のエネルギーは底をつきます。西原から抜け出せぬ私の天意かも知れません。すべて私への試練だったでせう。・・・四日九時頃 賀曾利さんが突然 入来 三人連でした。聞けば四国足摺岬から西原へ直行の由、中の一人武蔵野美術大学民俗資料室T女史で、先年ネパールのそばを中川氏に―それが私の今日のネパール蕎麦の原種です。約六・七年前かです。私の宅から中川さん宅へ、私も同伴をすすめられました。生憎雪や寒さで足腰が痛み行きませ

でした。もう一人の田口（洋美）という人はカンボジアへ行くという。私のトウジンビエの種をカンボジアへ持って行きます。アフリカ→日本→カンボジアです。それぞれ三人とも、何かを調べ研究でせう。

私は鶯の初鳴きを三月十五—二十日と予想していて、初鳴きしたらジャガ薯植えと準備します。・・・トウジンビエと宿根そばは丹精してみたいですね。野菜類は寒で伸び出しません。緑が乏しいので、菜類は鳥が食べに来て閉口です。本格的畑仕事は四月からですね。梅がやっと二分咲きで、マンサクは散り始めました。「鋏の柄を作ったり、風呂の薪を作ったり退屈します故」

226 (3/17) ・ ・ ・ 外米時代が来て「コメ」騒動ですね。乏しさを分け合は親子丈です。政策はどうあるかと貧乏人が食るといふことも前もそうでした。二日

より不順な天候で仕事もせず退屈していると体が悪くなるばかりです。

鶯の初鳴きを待たず 3/11 珍しく快晴にジャガイモ早掘用に、近隣より先に植えました。駄目でもともと、よければもうけと植た次第です。

梅が二三分咲き 彼岸が来るのに異常ですね。・ ・ ・

私は四月半ば頃から畑の方ですが、体の調子は好くありません。無理もないのです。調べると戌年七回を迎えたのは、男性では西原で私一人です。三十人位はあったんです。生き残ったことは奇蹟ですから 弱身な私で三四度は死線を越えたくんです。天意でせうか。

227 (3/30)

桜の開花といふのに雪も降り、梅が満開にならぬ山里毎朝霜で、畑仕事にやっとかかる処です。異常の春です。十日以上遅れています。鶯まだ鳴ず。

時に外米時代のコメ騒ぎ 一年の凶作でなんといふ不用意な国でせう。水のよりにダムを作ればいいでせうに。今春はびっこをひきながらの農耕です。

228 (4/2) 桜の開花は何処も遅れたようですが、立川辺は咲いたでせう。先年

桜の頃に立川入院した春を思い出します。・ ・ ・ 中川さんは元気になった由、家建築にかかったでせう。今日町並に業者に材料は依頼が流行ですので、多分そうするでせうが、建坪が大きそうですから 一部は自分で材料をとるか？とも角 大仕事です。今は田舎もすべて町並になりました。

半月は遅れた春です。30日頃より畑仕事が盛です。冬の寒と春の遅れで玉葱だめキャベツは鳥につつかれ、でもホーレン草、冬菜・ノラボウが有ります。ジャガは鶯の鳴きも待たず植えました。 31日 鶯がやっとう鳴きました。

229 (4/6) 宿根そばご持参して下さるご様子、時期は四月半ば頃でせうか？

先もってご一報下さい。植える予定地を考えています。戴た種は五月上旬に一応苗仕立とする予定で、それを来春定植します。・ ・ ・ 四月一日より平年に戻った陽気になり慌てています。それに本年は昨年より体調悪く、びっこを引きながらです。流石の私も焦燥です。五日 富士桜 鉢植え桜の魁として開花しました。一般は二十日頃でせう。カタクリもその頃でせう？ 戌年七回を迎えた一人生き残って鋏を握ることは、ともあれ勝利者であり、倖せということとせう。

230 (4/9) カタクリや 乙女のリボン ふと想う

半月も遅れた気候 四月になり五月の如き暖かさで、急激に平年に戻りました。今月八日カタクリが咲いたのに驚きました。下旬開花と思っていました。午後は雨になり、好きな雨ですが、又寒くなりそうです。是では百姓泣かせです。午後より休養です。芽生えが早いと晩霜が恐い土地で、それが気がかりの時期になります。

(追) 九日の朝は雪で真つ白で、雨が雪に変わったのを知らず。カラッと晴れず霧一杯で十時頃消えました。

231 (4/20) うららかや 山の桜へ 友在りて

十七日は良き春日でした。私の自慢の山桜も見頃でした。早生色もいのです。今年の花見は満足しました。宿根そば沢山戴き、私にロマンを興へて呉れました。生き甲斐が一つ増しました。桑畑のようなそば畑を想います。十八日曇で待っていた雨が降り、活着します。然し本年は実がつくかは未定です。秋は是非見に来て下さい。八十八夜が迫り支度です。(4/17 『雪虫』の表紙はこの日に撮影)

232 (4/26) 桜が散ります。こぶし、李、梨が咲き出して花の世です。写

真沢山有難く、私自身は知っての通りで、今更どうにもならず ありのままです。ただ桜は最初に撮って戴た春の記念です。宿根そばよい記録にしたいと思えます(晩霜が心配なので桜の枝で覆って置きます)。(「郷土研究」) 全部を揃える為に製本迄お願いして図々しい次第です。窪田先生は元高校長で郷土研究で親しくなり、都留郷土研究会会長です。お暇の折で結構です。暇があると趣味が多すぎて、かえって仇になるんです。現在は花咲か爺さんになろう

と、他の事はやめます。

廿一日つばめが来ました。この日玉蜀黍発芽、夏ソバも発芽、早すぎて霜が心配です。五月連休頃発芽なら無難なのです。廿四日あれよりはじめて行くとは桜は散り果て、ジャガ全部（早掘用）発芽していました。

八十八夜 五月二日起点として雑穀作りです。シコクヒエ、トウジンビエ、穂もろこしは苗床に、四五〇日を定植 黍、粟、稗は直播きに作る。

私はナス、トマト、南瓜、胡瓜は農協に苗を僅依頼。沢山植る胡瓜、南瓜は自分で仕立てるが是は送れます。いずれも五月霜の心配のない頃植付です。サツマ薯を作る処も宿根そばの処に仕立てました。何しろ本年はすっかり体が老化してしまいましたので、苦勞している有り様です。

次に姥百合、根付くでせうが、葉がひろがりすぎて本年は成績が悪いかも知れません。芽生え頃がよいようです。まだ試食したことがありません。花が開くも花を落せば球根が大きくなるのか？山から採集してきて実をそのままにしておく精か、適地に植えて方々に生えませんが球根は育ちません。本年は秋ふじばかまを採集、芽がでましたが、本物かどうか？研究してみてもからです。

五月連休は私は忙しいので畑です。子供は帰省しますが、顔合わせればそれで満足で、兄弟で語り合つてゆつくり休養です。緑の日にピアノで出場の孫はすごく元気で、母親は済むまでは大変です。

来る秋、十月半ばには雑穀の結果（収穫）も判明です。宿根そばの成績も判明させよう。ご都合して是非ともご来車ください。特に大きな台風でもない限り、平年の作柄は見込まれます。小鳥の防除の網張りが老人には苦難な仕事なのです。異常の天候で、私にも今年もどんな夏か予想できません。

233 (5/6) ふじ咲きぬ 相州武甲の 山若葉 (於上野原)

製本有難く全四冊揃いました。御礼申し上げます。郷土研究に努めたんです。4/28 雨が止んでから二年振りて嫁の車で町へ、川通りから八米、新田（駅下）の道で、駅から上の台地へ。実は昭島から町の東端へ引つ越した長女の新居を訪ねたんです。妻と外泊、四・五年ぶりで一泊し、翌日暑い日帰宅。僅20*の上流から下流でこうも違ふか、神奈川県境ですから初夏で遙か連なる山々は若葉でした。疲れて翌日半日寝ました。紅花は4/18で雨が乏しく乾燥期で発芽不良。

234 (5/9) 若葉風 連休明けや ふじつつじ

上流の西原も旬日の中に下流の町の如く若葉の世となり、藤やつつじ満開です

が、雨を待っても僅で風と照りで乾き、四月半ばより霜がないのが救いです。宿根そば良好ですが、実を蒔いたのはどうなるか、霜除けをとりました。丁寧に遺跡庭園の雑穀栽培お知らせで、もう一度出掛けたいが、今の体調では駄目です。姥百合は根付いたでせうが、日当たりの強い処より小蔭が姥百合は好みます。カタクリ、熊谷草もそうですね。ジャガ芋は元気ですが、玉蜀黍は成育が悪いです。黍や粟を是から作るのですが、乾き過ぎです。五月日曜の度 猿猪の駆除を猟師がやるそうですが、ジャガ芋畑の外は荒す処もないが、出没の部落があるらしい。五月の半ばになれば山菜や筍も出るんですが

235 (5/10) 日照り続きで 筍も不作かも知れません。知つての通りの竹藪ですから、私は掘ることも不自由ですが、何もない土地ですから筍を送る次第。

異常の気象で五月に入って蒔いたものは発芽がどうなるか、葱など伸びださず、黄色くなりました。是より胡瓜・南瓜・茄子も植るのですが、足腰の痛に水を充分與えられず弱りました。意外な高温になりました。

236 (5/23) 学芸大学で考古学協会 盛会だったと思います。天候も高温だった

り低温だったりですね。雨も思った程降りませんが、野菜類の植付けは結構でした。晩霜がなかったので霜を覚悟で早作りしたものは成績よく、近隣より優良です。何年経験しても気候の予測がうまく合わない失敗です。宿根そばも発芽しました。4/17 二人で植えた株根の方、好成绩で植方が少し狭かったようです。秋が期待されます。

237 (6/4) 5/25 松蟬が鳴きました。初夏になりました。雨はあっても雨

降りという程でなく、休養出来ずです。宿根そば種で蒔たのは四〇本発芽で、ネパール蕎麦と一見同じで、根株で植たのも大きな株になり、芽数も多く四〇本位あり、是もネパールのそばを大きくしたのと同じです。どの位収量が得られるか、秋が楽しみです。4/14 作ったそば 間もなく花盛りになります。5/2 蒔いたトウジンビエは照りで発芽が悪く、十日後に追加蒔きまして、植付けが遅れます。エンドウ・キャベツ・大根が出来て、近日ジャガ芋も掘ってみる予定です。

六月一日の夜は珍しく夕立ちでした。今までは照り勝ちで、葱は葉が枯れます。これから雨期になるでせう。

238 (6/13) 卯の花や ジャガイも掘りて 母の忌へ

宿根そばの自生地の写真有難し。現在で素晴らしく茂っているのに驚きました。何年も自生しているようですね。土日は忙しいでせう。賑やかに田植えの由、是も楽しみでせう。

卯の花が咲き、ジャガ薯が咲き、雨期に入ったようです。ジャガ早掘り成功で6/2より食べています。母の忌が十五日で、例年はこの日からです。トウジンビエ少し遅れました。二〇日頃定植。シコクヒエ・もろこしも六月中には植えます。足腰が悪いので思うようには行きません。

329 (6/29) 田植ご参加お忙しい中で仲々でせう。きつと祭り騒ぎの賑やかな事だったでせう。降りもせず照りもせぬといった梅雨期で降るといふほどの

雨でなく、それでも心忙しい毎日でした。

6/13 穂もろこし 20 トウジンビエ 24 シコクヒエ定植で 早掘りジャガ後へ25 小豆を作りました。...

昨日廿七日の高温には驚きで 廿二度位になったでせう。今日涼しく雨です。

玉蜀黍の穂が出、胡瓜・南瓜・茄子も花が咲きました。雑穀類は夏至から半夏生迄に植るも作りも終ります。玉葱・ジャガ・春蒔きそばの収穫です。

4/15迄は寒波でしたが、15日以後は安定な日が続くが、これから梅雨期が長く、冷夏になるのではと心配です。...

夏になっても体調回復せず、老妻の二人丈ですので、思うようにはいかず閉口です。

240 (8/2) ミンミン蟬が廿一日鳴き出し、暑い夏です。夏の日程で相変らずご

多忙でせう。早くから暑さが続く夏で、平年より作物は十日も十五日も進みます。秋は早く来るといふこととせうか。豊作でせうが、私は暑さに負けて体調が崩れました。トウジンビエなど(昨年同様) 7/30の出穂でしたが、

7/5に出穂は驚きました。宿根そばもサツマ芋畑の如く張って広がって来ました。実生も実が大きくなりました。

241 (8/6) ここ記録的な猛暑になりました。いろいろ不都合が生じる 正に殺

人的な天候になりました。四・五日に僅か夕立あり。大変な夏になりましたが、水さえあれば豊作でせうが、私も暑さに負けて、仕事も意の如く行かずです。驚いたことに、トウジンビエ、昨年は出穂ははじめが7/30でしたが、本年は定

植十日遅れましたが出穂7/5で、そろそろ穂揃いになり、確実に実入るでせう。宿根そばはサツマ芋畑の如く広がっています。実生も二メートル近くに伸びました。今度の高温の日照りで里芋は水不足です。もう少し雨がないと、今後の秋野菜や秋そば作りは手が出ません。

242 (8/16) 暑さが続きます。もう日は一時間も縮まったですが、何といても僅です。

当方 吾亦紅も姥百合も咲きました。8/12 墓掃除に行き丹精した吾亦紅の良品を寺から貰って帰る。私がやった元です。紅花 今年美しい成績が開花期に天気が悪く、花は僅摘んだ丈です。近日枯たので取り上げ、実が沢山とれます。実を煎り食べる予定です。戴いた椎の実の味が忘れられず、今度は紅花の実を味はいます。食用菊咲きました。日照りで花小さくて黒くなり、駄目です。水を與ればいいんです。

胡瓜も終り、トマトも傍の荒れた桑畑の南瓜、夕顔は元気で又、豊作で、よく人にやります。馬鈴薯迄掘り切れず暑さで腐るようです。掘るは出来るが、家に背負って来るのが駄目です。一番弱ったのは黍の防鳥網張り、二年収量少ないが、無肥料栽培は丈が短く楽でした。本年は二米に達し、暑いのと妻と苦勞しました。8/11 やつと張終る。穂より十糎は上に張らねば網に鳥がのぼりつつきます。今夏は豊作ですが、半月は実のりが早いでせう。黍も發月中か九月早々の収穫です。里芋が不作か?

8/4 から三回の夕立ちで豊作が、又日照りが来たので一只今秋そば・大根の秋野菜作り期ですが、この日照りで弱りました。15 白菜はポットへ苗として種を入れました。9/5頃定植予定。トウジンビエは8/11 穂揃いで九月中に収穫できる予定。奇蹟のようで、挑戦二年目で成功です。異国のサバナの幻影が想われます。冬は日本の農民で最初に試食ですね。...

今日終戦日は大分空港(海軍) 夕方特攻機で司令官宇垣纏中将が沖繩に突入想い出されます。私は夏カゼで口内が荒れ歯茎も舌も痛く苦勞して、読むこと書くも元氣なしです。虫の音が夜は聞えます。お盆十五日

243 (8/23) 十三日からの日照りで一週間 日中は作物もぐったり、生気なし

です。夏野菜も終りです。夕顔・南瓜・大根を送ります。本年の大根について。春蒔き三月廿日(一回目)、四月七日(二回目)、十五日(三回目) 同一の畑に上より作り、四月七日の適期のものが上物でした。

七月廿八日 夏みの早生を四〇株作る。現在暑に負けず(小蔭の畑) 育っている

ます。秋彼岸より食べる予定です。秋大根は立秋十日頃作る予定は、照りで作れず。昨年は沢山作り半分捨てる。本年僅ですが、こんな仕末です。雑穀は照りで収穫がどうなるか。黍が先で次がもろこし、稗出穂中。トウジンビエは流石に良好豊作でせう。収穫迄に誰かに写して貰いたい。宿根そばも照りに色あせる。秋そば作れず。

里芋凶作に転ず。馬鈴薯残り暑さで腐敗が多し。白菜は九月五―七日定植予定、十五日苗床に蒔入れ

244 (8/29) 突然ご入来、本当に有難いことでした。トウジンビエの丁度見頃でした。勝手な私ですが撮ってもらった写真仕上がりましたら三部戴きたく、木俣さんに是非送りたいのです。畑が湿っているので、あれから遅れた秋そばを作りました。九月上旬中に黍もトウジンビエも取り上げになります。シコクビエ、稗が穂揃いで美事です。お目に掛きたいほどです。

245 (9/2) 私の秋作の全部を撮ってくださいって誠に有難く御礼申し上げます。実は記念のトウジンビエの写真が望でした。豊作ではあり、恩人の木俣さんに送りたいのです。・・・どうにか大根を作りました。葱種を蒔き、玉葱の苗を蒔きました。黍は取り入れたいし、雨は欲しいし

ころろぎの 鳴く夜となりぬ 風涼し
九月になりましたら涼しくなりました。お忙しい中写真不躰にもご迷惑かけました。・・・
収穫期が早いので秋野菜作りと一緒に、困りました。

246 (9/17) ころろぎの 土間に来て鳴く 雨の宵

ここ雨が降るようになったら急に涼しくなりました。幸いに白菜を定植したり、秋の菜類も発芽します。実りの早い年で、黍・穂もろこし取り上げ、トウジンビエも穂刈して畑に乾くように干しました。写真に撮って戴いたのでほんとうに好都合で取り上げられました。残っているのはシコクビエと稗です。九月 西原はお祭りの月です。然しお祭りへも三・四十年出掛けません。曼殊沙華が咲き出しました。お彼岸が来ます。日の短さが判ります。三回目の西原ふるさと祭りは十月八―九日です。

247 (9/24) 雨が来てより急に涼しくなりました。平年並になったという事で、雨期でもあります。9～19 宿根そばの先端に花穂ができました。お知せし

す。

西原は、九月はお祭り運動会 9～23 田和神楽で終りです。十月は10～2 西原の敬老会です。8・9が西原ふるさと祭りです。実のりが早かったので黍、穂もろこし、トウジンビエは取り上げました。十月は忙しくもお出掛け下さい。

248 (10/5) 秋雨や 秋海棠の 余滴かな

九月中旬より雨が降り、気温も段々平年並みになりましたが、酷暑の夏で作柄は半月早く収穫を迎えました。雨が降るようになり、秋野菜がやっと作れ、これは又平年より遅れ、秋野菜は悪い出来です。西原の秋祭り・運動会みんな雨に祟られました。・・・台風は、被害はあまりありませんが、畑作は倒伏しました。収穫する作物はソバ・小豆・シコクビエです。

本年は、里芋はだめですが、お暇がありましたら、例年のごとく掘りに来てください。十月の半がいいですが・・・お待ち致します。

賀曾利さんは九月半ば中国奥地タクラマカン砂漠めざし出発。

249 (10/15) 収穫の穂もの作物は終了しましたが、畑の稲架に残ったものもあります。平年より早いですが、後脱穀しても乾きません。前後にする柴刈りはこれからです。九日の祭りは大当たりでした。

九日 7～5に雑穀の種を送りし安房の樋口氏が前夜祭の10～8に、三頭荘一泊、10～9 午前白米持参で拙宅を訪ね、お礼を兼ね畑見学で取り上げた畑一巡でした。安孫子さんと小俣さんのご厚志の写真持参説明 炭焼きの実演を長く見学。ここで別れ、私は祭りの広場へ三頭太鼓の発表を見、一籠を求めて杖に通し担いで帰宅一時でした。

250 (10/25) 貴重な一日をご入来いつも歓待もできず 痛み入ります。豊作の年なのに里芋ばかり不作で、又九月中旬より天候不順に戻り。やっと出た秋野菜も不作のみで申し訳ありません。野外での中食は本年はじめて、金子さんの料理は本当に有難かったんです。

宿根そば、実に私の最後の仕事でした。・・・さつま芋10～24 三株掘って重くて家には無理で、途中二人にあげました。力は無いにしても三株です。ピツクリです。大きすぎて食べるに面倒で、人気無しです。

とも角 私は老妻と労りあって畑に出る晩年の幸福です。
10～24 室内10℃、戸外4度は低いでせう。
木俣さんにつき、一寸申し上げます。もう三十年近い間柄で、今更 先生とも

云えず、四月阪本先生退職後は雑穀研究の総帥です。六月は教授になり、あれこれ忙しい様子。安孫子さんにも逢いたし、拙宅訪問したらしいが、仲々実現の機がないらしい。山口大学の小林先生は後輩で数の少ない雑穀研究家一員でしたが、本年アフリカのマリに行き、現地か帰国後かマラリヤで亡くなられ落胆の様子。

251 (10/30) 蟪蛄の 末枯れて草へ 縊りつく

悪天候の長期で取り上げ刈り上げは、草が干し上がりません。畑の稲架にはそば・小豆が少々で種の芋と小豆で完了です。秋野菜は虫と病気で成育は悪いです。宿根そば 花が一杯で、実生法は実が付きましたが、完熟すれば落ちるようだ。考えると作物でなく、自生植物ですから自ら落ちて殖えるですね。晴天が来ないで、初霜はまだですが、低温で日照不足で、折角わざわざ苗を持参下されましたが、西原では野菜そばとして菜の代わりにオカズや飯のサイ用ですね。畑に行く度、掌に載るほどの青い実を採ります。二十九日終日雨です。

252 (11/10) 立冬から快晴で 寒いが霜が来ません。紅葉は 十日位は遅れた秋です。晴日になると、あれもこれもと、やりたいことばかりで気が忙しいが、体は動きません。

立冬の日 えんどう・ホウレン草を作り、畑の稲架にそば、小豆をやつと掛け、まだ取り込んだものを二日ほど干し脱穀 調整するものもあり、短日は仕事に追われます 戴いた宿根そば・・・畑に行く度採ってきて、一合位はあるでせう これから里芋の種採りで、斜面の干柴刈が沢山あるが、草は枯れてきて刈り難くなりました。冬にならねば製粉を作れず、出来上がったら又、送れるでせう。暑いが良いのか、はじめて大きな柚がなりました。

253 (11/19) 九日立冬より五日間晴がつづき 畑のはさに掛けたそば、小豆、シコクビエ やつと取入れました。十五日 宿根そば刈り伏せました。十六日 初霜で十七日と二回の大霜ですつかり青いものは無く、紅葉の盛りです。独り秋野菜が青さがあざやかです。

宿根そばの試食は西原では収穫不可能で、根株で植し方は僅で、実蒔は一合位です。今後は菜の代りに食する野菜そばとして西原に普及と考えていて、適地あれば自然生にしてみたいですが？

十七日畑で脱穀したままのトウジンビエ 白でつき、やつと調整終り、沢山収量ありました。短い日照時間ですから三日も干しやつと調整しました。後は又シコクビエの穂を干して白で搗けば終了です。まだ乾柴刈は沢山有り、草は枯弱りました。

254 (11/21) 銀製の 時計うでにし 秋ふかし (子供用を求めやつと腕す)

ここ三寒四温が入り乱れ、例年とは異なる天候です。丹念に採集されました貴重な宿根そば感激致しました。試食ともあれ、まごころのそば実に尊いことです。御礼申し上げます。

トウジンビエやつと製粉所へ依頼しました。木俣教授に送る予定。教授は味も亦調整法も知っているでせう。賀曾利さんなら間違いないですが、まだ帰国の知らせがありません。

寒につけ中川さんを思います。今は何でもものに不自由はせぬ時代ですが、もののない時代の三年目は実に厳しい寒を通りました。私は若さと強い意志とのたたかいでした。晴れると頑張りますが、疲れ果て放心したようになることもあります。

255 (11/25) 冴えない天候で寒さ強く老人は泣き面です。

此の間テレビで青森の三内丸山遺跡がでまして、縄文時代が野生の稗を食していたことが判明して、私は、稗は日本が起源だと思っていたが、決定はしません。が、ほぼ私の考えていることが近い気がします。

縄文時代に比すれば 現代の文明は瞬間的の如きものではないでせうか。石油が必ず三〇―五〇年後には乏しくなるでせうが、勿論今から対策は講じているでせうが。それが現実化の時代になったらばどうでせうか？ 崩れた山村農が復活するではないでせうか。都会中心が緩和するだろう。飛んだ炉端閑話になりました。

ただいまトウジンビエ製粉が出来上がりました。西原で完全に栽培 収量が多い作物で雑穀では六位の重要穀物だそうです。シコクビエはアフリカ東エチオピア辺りか？ トウジンビエはアフリカ西サハラ砂漠南縁の由。起源は同時代らしく、日本へは弥生時代 稲より先か稲が先かに渡来したんですが、トウジンビエはインドより東へ渡来しなかったことが不思議で、そのため試作した次第。千―二千年前に渡来したら日本でも広く作られたでせう。これから雑穀栽培による土地に普及してみたいです。

256 (12/16) 本年 宿根そばや作物生育写真を丁寧撮って戴き、大変お世話になりました。それに報ずる御礼も出来ず お詫び申し上げます。送りました雑穀はご迷惑だったかとも思います。弥生時代から伝来したもので、私も齢ですから揃えるのは最後かも知れません。 中川氏 12/8 頃基礎工事に着工の様子、葬儀で遅れたですね。

257 (12/27) 冬耕や 師走の空は 冴えわたり

歳末ご忙殺にも関わらず 高幡不動尊の暦乙亥を頂戴しました。指針として、農耕に奮起してご厚志に報い御礼と致します。 芥子は歳末の忙しさも無く正月の楽しみも無く、ただ怖きは雪の降ることで、南面に日を楽しむことが冬のよろこびです。 杖に縋り、畑の凍らぬうちは冬耕です。一年終る度に気力が失われて了ひます。

廿六日曇 午後四時頃より雨、1000米級の山頂は雪か?・・・ (暦)中川さんへは廿六日届けました。冬に成りの起工ですから短日で寒いし、四月頃からはないと手間どるでせう。その頃なら進行により完成が判るでせう。

平成七(1995)年 降矢 85歳

258 (1/10) ようやくトウジンビエとシコクビエの粉ができました。三人で機会をみて笑ってください。・・・トウジンビエも渡来していたら各地で栽培したでせう。調理法も判りませんが、私は手早く試食してみました。天ぷらの衣よりゆるく粉に水を入れかきまぜ、フライパンで焼いて食べてみました。黒くて餅風ですから焼きあがると粘らず、稗(日本に似る)稔性です。噛んでみると特殊の風味があり、食べられました。 純粋の味を知ろうと味噌も砂糖もつけずそのまま食してみました。 これからこねて餅、饅頭、又稗がゆ風にしたたり、何回も工夫して試食してみる考えです。 粉に熱湯をつぎ、そばがきにしても勿論いいでせう。 現地は主食で鍋に水を入れ、それに粉を入れて煮て、それを皿で食べるでせう。野菜を入れたり牛乳も入れる時も、香料や油又はカレー粉も使うでせう。アフリカ通の賀曾利さんは知っているでせう。教示に預かりたいものです。 小豆は夏小豆で五月頃作れば秋彼岸のオハギ用になります。 穂もろこしは、飯や餅に使う灰には一晩水に浸けてからにします。

259 (1/16) 元旦は快晴で穏やかな珍しい新春でした。青空を仰ぎ山の彼方より何かいい訪れでもと 少年に戻った一日でした。

トウジンビエどうにかして食べられましたですか? 暮から私を支援し下さる方々や畏友といふか盟友達にトウジンビエの粉を送りました。トウジンビエの説明と私が試作に挑戦の動機を添へました。手書きで長文になり後で複写でもすれば楽だったと思ました。 正月入りニ三人で終ります。 それから桐原の長寿館へ暮に穂もろこし・モチキビをはじめ出荷しました。 正月入りトウモロコシの粉を契約し、二日の仕事はじめに脱粒し、干て八日より始める製粉所へ依頼したんで忙しかったですね。

次に小正月の行事に 十一日に鋳入を済ませてから、粟穂・稗穂切りと称し山へぬるでの木を伐りに行き、この木で粟穂・稗穂や農具・門男を造り門に立てます。この山村の行事もまぼろしになり、惜しむ人々もあります。私は山に行けなくなり三年造りませんが、本年は甥子の協力で木の寄贈で、四年振りです。 写真に撮る人や済んだら山村行事の資料に欲しが人もあり、私も本年が最後です。小菅、丹波山でも昔はあったはずです。丹波山には残っているかも知れません。

十一日の鋳入を済さず、五日より午後冬耕です。暖冬か雪は降らず四日雨でよく湿りました。

260 (2/16) 三内丸山より縄文時代五五〇〇年前 野生の稗を集め食したことが判明したことは興味があり、・・・アフリカのシコクビエやトウジンビエの起源と年代が似ていることも妙です。

ところで種子棚を整理したら古い稗種がありました。十年以上のもので採取年代は忘れましたが、ノゲの長い分ケツする雑草と作物の中間で、焼き畑に蒔いた稗に似ています。ここ五―六年は病院通い等で空白が多く、忘れて了った次第です。四月になると発芽を試みます。発芽したら例の縄文村の庭へ展示栽培四―五株はどうですか。小鳥の食べ憎そうな稗です。私の現在の稗は東北の人間用で、家畜用と区別があったらしく人間用の良質系統らしい。西原では区別は聞きませんが五―六種類は有ったようで、現在は調べたこともなし不明。 昨年は沢山取ろうとしたが網掛け半ばで終り、収穫皆無でした。実に良い成績で穂前は美事で豊作の年で惜しいが、老夫婦ですからこんな結果があるんです。 御覧になった通りです。

次に木俣教授がシンボルマークに私の門男を使って呉れますが、本年は町の鶴川 小俣さんが門男の行事の絶えるのを惜しみ、資料を残したいとのこと、

二度断ったが甥子の協力を乞い、山から材料ぬるでの木を伐って来て貰い四年振りて造って門に立てました。私ももう作れぬでせう。町では西原のみで、山村の小菅、丹波山の奥は、昔は小正月に立てた行事です。発祥は山伝に奥秩父と推定、是も調べたことなしです。耕作と繁栄のためでせう？ 小俣さんは、12/28日より入院・・・2/12日、私の留守中に来て、門男は見ただししようが、・・・

トウジンビエ試食しましたか？ 賀曾利さんは、白玉粉に交ぜ団子にしてアイン粉と佐藤醤油につけて食べた由、美味しかったお礼でした。かつての日本は七十年に一度大地震のある説を読んだことあります。関東震災は私が十三の頃で、七十二年位前で今回の兵庫大地震（一月十七日発生阪神・淡路大震災）です。この震災や防災対策の見直しと年度末の忙殺か、近頃は皆音沙汰なしです。・・・

261 (3/2) さて今年には雪の乏しい冬でした。節分夜と二晩小雪で十四日は雨で、やや湿ったものの乾燥で冬野菜は駄目です。平年の30%とかの雨量です。

次、冬の野菜として山村の昔の干葉や白菜の干したものを送ります。山芋も痛みました。掘ったごぼう・人参は草の根のようで、皮でもとって食べてみて下さい。ジャガ芋は大量あるが暖冬で芽が出て貯蔵に失敗です。

四・五月にならぬと水々した野菜は有りません。ホウレン草、ノラボウは小鳥がよくつきます。露の臺も蓬も桃の節句といふのにだめです。

廿六日が積雪五・六センチでは大雪ですが、三月もスッキリしない天気が続きのようですね。私も妻も急に老化が進み、本年は予定通りには行きません。

鶯は何時鳴くか？ 私の農耕の合図です。

262 (3/6) 雛だんの 蛤なきぬ 雪つもる

座談会―拝読。昭和三十七年より東京以来の経歴というか職歴を伺い、安孫子さんを知りましたことは何よりで、雑穀が縁で久しい親交ですが、はじめ

て全体を知り、矢張り私の先生で、私は聴講生です。敬意表します。三月になり冬眠状態で弱ります。桜は平年並みの開花予想ですが、降る度に積雪量が増、雪になりました。

263 (3/13) 砂糖湯も ほつと余寒の 咳ぐすり

雪解け後運動不足の身を少し仕事に掛るとふらふらで、お礼申し遅れお詫びします。変化の多い気候に振り回されます。北海道産種薯は完全越冬で、自宅のは芽が出て居ます。彼岸前後にはジャガを少し植る予定です。

264 (4/17) 十六日は朝霧雨でご来車中止と思ひ、食後又寝床でした。

私は生き残った浦島のようにです。新人ばかりで訪れた人は、十二月より小俣光雄氏が三回で、賀曾利さんやA、TG、TM（ネパールそば種親）来るといふことですが、誰も来ません。連休は、子供は二人来ます。

天候は不順で日照ると翌日は雨で、体はだめだしジャガも里芋もまだ作り終らず。十六日は薄日が出たのであれから玉蜀黍を作りました。僅4さくです。天気当になりませんので。

中川さんの建築は捗っているでせうが、体の方は私と同じでせう。健康状態が悪いので、最期と思つて信州に行つてくる予定です。

265 (4/24) 十七日も廿三日も夏のような暑さで、二時頃雨です。満開の桜も

強風に吹き散りました。岩ツツジが真盛りです。お忙しい処を早々に写真を戴き心謝一杯です。血色いいとは言いますが、体はだんだん駄目です。三月より異常な天候で快晴は乏しく曇りや雨が多く、特に私の体に影響もあるようです。早いジャガは発芽、遅いのは作った処・トウモロコシも大急ぎで作り、是からは晩霜が心配なのです。

五月になるとキュウリもナスも南瓜植え、雑穀類も十日頃迄に苗は蒔きまです。宿根そばも五月になります、どうも思うようには出来ず、あきらめてはいけません。漬物まだ戴いています。今日、ウドを食べました。

金子さんも滝川さんもばばちゃんになると忙しい様子ですね。滝川さんとはほんとうに久しぶりでした。

カタクリは咲いていた由、桜は二十日満開で、鶯は例年より一ヶ月遅れ十七日でした。シヤクナゲ咲きははじめ、牡丹はまだです。

266 (5/6) 新茶の 香ほのぼのと 立夏かな (新茶寄贈に)

高温で雑草が茂りだし弱りました。八十八夜が起点で雑穀の蒔き付けや苗の播種の時期ですが、仕事は進まず、南瓜・夕顔・いんげんをどうにか植えました。キュウリ、ナス、トマトも植えます。連休も独りぼっちで、車も二〇台以上通るようです。廿七日 甲府放送局ディレクターのKさんが畑迄雑穀の話を聞きに来て、空箱に休んで一時間語りました。十二月二日出逢いで、また来るそうです。年に一人か二人はこんな人達が来ます。四月廿日か？ネパールそばの種親のTM氏が事故死と中川さんが電話で知せて呉れました。四月にネパールから土産のトウモロコシを送って来たのが発芽したばかりで、若いのに気の毒です。私とは昨年二回来宅の縁でした。

267 (5/13) 牡丹咲くとはいうもの 逝ける人 (田村さんへ匂)

中川さん亦入院 貧血の由。立川共済でせう。私は倅せな方でせう。連休はなしで、八十八夜から雑穀作の時期で、ともあれ後はどうなるか、十日迄に苗床に蒔き終る。九日の夏のような日は珍しく、貧血を押して小侯氏が来宅、九日は降矢勝雄さん(山葵屋)に私の百姓七〇年記念にトウジンビエ粉・ネパールのそば粉と特に宿根そば苗を送るので来て貰う。雨が降ると午前中は安静に床で休み、午後から多少書を読です。・・・猿がはじめてジャガ発芽にかかりました。

268 (5/26) つばくろや 雑穀の苗が 芽ぶきけり

晴れて暑い日が続きます。五月も僅になりました。御忙殺と存じます。丹下左膳よりひどい体ですから、仕事は進まず諦めてはいます。雑草が茂りました。もう試作は止めるつもりでしたが、土産に送ってくれたネパールの玉蜀黍発芽した4〜30 TMさんは信州秋山郷の山で 事故で他界、形見になりました(四〇粒)。どんな成績が得られるか？中川さんも・・・小侯さん・・・貧血です。どうなりましたか。それに比すれば、びっこを曳きながら畑に立つことは まあ倅せでせう。そろそろ松蟬が鳴くでせう。

269 (6/7) 六月になりました。遺跡庭園に雑穀植付け済みましたでせうか？

古い稗種は発芽したですか。又トウジンビエはいかがですか？・・・以前は田植え、蚕、麦刈りと共に雑穀作りで、五〜六月は忙しいうえに蒔蕪にも柴を刈たんです。

5/30 金子さん一行が突然畑迄来ました。西原の新緑と山葵田を見に来た様子、僅時間語りました。中川さんの経過も話して呉れました。金子さん古代食・・・入選 敬服です。随分元気でした。私は時代からはずれ、人と語ることもまれです。

私の好きな駒鳥が来たでせう。ここ家内も不調で私は独りぼっちで畑です。6/2 時鳥が鳴き、郭公はまだ鳴かず、谿谷で河鹿が鳴くでせうが、川へも山へも行かず、見える範囲丈です。四月新築完成に行く予定の信州へも後日としましたら、次女(娘)が心配して5/23 忙しい中を二泊して帰り、まだ元気な親達に安心した様子です。妻も来年は八〇才です。木侯さんは中央アジアからの栗・黍原種近い麦(出穂)とか、農園は賑やかで忙しい様子、満足な体なら見に行きたいが、思う丈です。日帰りの出来る処ですのに、老人はだめです。

六月は雨が多い予報ですが、是から先どんな天候か？ 6/2 ジャガ初掘り・・・以後食べていますが、不作型です。降り過ぎ、照り過ぎは農人泣かせですね。八〜九月頃迄は、畑を見に来る珍客もあるでせう。右腕が痛く軟筆が使いにくく、硬筆は力がいり、判読下さい。

270 (6/21) 花栗や しとしと雨は 人恋し

梅雨どきとはいえ、晴れる日が乏しく、降ると半日は安静、後も無気力で退屈するのみ。雑穀作りは七月五日迄が掟ですが、整地に草が多く、ここ三日降らぬので痛む体をどうにか耕す次第です。七月下旬から八月頃は日照りか？近頃は妻も弱く畑は独りが多く、里芋と玉蜀黍は元気ですが、竹藪に一度も行かぬが筍は不作だった由、筍の不作は水害に縁がある由、馬鈴薯は不作になりそうです。

272 (7/2) 霧の中の如き毎日です。薄日がさすと蒸し暑い。金子さんの田植

え終りましたですか？ いままで続くかこの天候、雑草ばかり茂ります。どうにかトウジンビエを十日も遅れて植えました。期待は出来ません。砂漠地帯の作物ですから。

馬鈴薯は急に疫病で黒く枯れました。秋の収穫も心配な二年になる気配がします。4〜17 あの日の夕方作ったハニーバンタム(玉蜀黍)が出穂しました。

273 (7/10) 花栗が 霧の中から 匂いくる

雨・雨・雨です。梅雨はいつ明けるか？ 降り過ぎ、照り過ぎで農人は苦しむ。

私は退屈な毎日ですが、頭の方も老化して思考力も記憶もきわだつて悪くなりました。畑を空ける訳にもいかず、十、十日も遅れて作付けですが、秋が早く来たら駄目でせう。

体調は戻らず、天意に従うことを覚悟しています。私を訪れる人もなくなるでせう。農七〇年で幕です。視力も悪く、愛眼といふことで読書もテレビも制限しました。

前に製本お願ひした窪田先生が、今度は二十年研究した論文集『つるのふる里』載たがまだ読まず。家居していると夜ごと眠れず、厄介な体になりました。

374 (7/18) 末期とは思ふが梅雨明けず、米糠を戴いたので南瓜味よし。トマト疾病、いんげん・キュウリ・玉葱食しています。天候不順と体調不振で、

十五、二十日遅れ畑を空ける訳にもいかず作付けですが、天意に従うのみです。

雑穀最後の夏でせうが、7、14 シコクビエ定植す、トウジンビエ一応植ました。黍・粟がどうなるか。里芋と玉蜀黍は元気で、ハニーバンタムは近日食せまず。日本稗もそろそろ出穂、もう放棄しなければならぬものもあり。家庭は平和です。作物より自愛専一です。

お盆は八月です。皆忙しいらしく消息もなく、来る人もなし、行く処もなし、霧の中のような日が多です。老人の当然の時期になりました。でも妻もあり孫もあり、倅ということにせう。紅花も黄金用菊も咲きました。山百合が美しい、あじさいもやつと花盛りです。

275 (8/1) 日照不足の不順から酷暑に、体がついて行けず嬉しい悲鳴です。

「たまのよこやま」万葉調のセンター広報編集者の由、その尊い紙面に無名農人に庭園の四季を使用され、感動です。全く有難し。以前はまた參觀するつもりでしたが、こう老化してはだめです。あの日を想い出とする丈です。

雑穀を通じ随分いろいろの方に遭遇しました。まだ本年は、八、九月中には尋ねて下さる方があるかも知れませんか？ ・ ・ ・土用に入り、この高温でどこまで助かるか？ 天意と覚悟しています。ハニーバンタムは日照不足のため味が悪く、ジャガ薯は疾病と低温で不作でした。夏野菜も味が悪い。これ

からどこまで持ち直すか、恥ずかしい百姓です。今度は暑さで仕事はだめです。無気力で忙しい時代、何するのも嫌です。

276 (8/16) 終戦忌 南瓜の蔓は茂りけり

五十年前も暑い日でした、大分空港用庫係でした。司令官宇垣中将は夕方沖繩に突入、思ひ出します。

土用入三日日から記録的な炎暑が続き、怠慢な作柄 多少復活です。長い日照不足と精力も尽きた私です。今度は暑さに負けました。

これから大根、秋野菜 そば作りですが、十二日一雨ざつと降っただけで畑が乾き照り出したでせうか。お盆中に白菜の苗をポット蒔きます。日程を見ると暁も忙しいですね。八月も訪れる人も無し、TMさん形見のトウモロコシは丈長く房小です。百姓は天候次第です。東北は豊作になりませうか？

277 (8/18?) 糠を頂戴した南瓜は上作ですが、味は食べてみないと判りませ

ん。日照りで又、作物に明暗が出来ます。何年経験しても天候の支配です。知ての如く照りに弱い耕土の畑です。水稲が最高でせう。ダメかと思つた雑穀多少とれるでせうが、親の務めが終つて老妻と余生を共にしている私は、是で満足しなければ。男性では西原で四番目（先輩は三人）で、畑にどうにか出るは私丈でせう。

思いながら宿根そばの葉やつと試食してみました。菊の花の酢漬、天ぷらも今年には食べられません。好物なんです。洋種玉蜀黍は生食用、乾いても粉はとれず、又取れ過ぎ。日本稗は穂が出てから照られて不成績、トウジンビエ七分出穂、遅れているのはシコクビエで、穂はまだです。

安孫子さんや木俣さんに大変配慮に預りますね。四年経ると八十を越れば老人になるものです。

雑穀も野菜も無理する程は作りません。見栄えする成績の作物はありませんが、九月頃 トウジンビエ取材に山梨日々新聞で来るかも知れません。

工商立国の現代に時代を逆行して山村農に生きた私で、木俣さんや安孫子さんは理解者で感謝いつもしています。子供は親と違って時代に生きていくようです。

8/16・17 両日は軽い雷雨有り それでも作物生気を戻す。大根やぼつぼつ秋野菜が作れそうです。

278 (8/30) 連日暑く 一部照りの被害もありますが、8、23・24と珍しい雷

雨で助かりましたが、五六日経ると又しめりがほしく、秋野菜の発芽や畑に依ると作れずです。日程はよく判りご多忙でせうが、もしご都合ができたなら九月十日(日)頃午后から半日がかりで私の最後の雑穀見に来ませんか。黍は無肥料で作れ、丈低く、妻と8〜27網を張り、粟はまだです。トウジンビエは9〜10頃収穫予想。遅れたのがシコクビエで出穂五分、穂もろこし穂揃いで。日本種玉蜀黍が照りの被害を少し受ける。珍し芋良好です。暑さに負け、仕事は僅しかやれず、本年が雑穀の最終です。来年から一部作るかどうかです。年齢ですからね。

279

(9/14) ご多忙中 十日はご来車下され、ゆっくり語り又、雑穀収穫前をみて戴き、実に有難いことで、お招きしても格別のご歓待も出来ませんが、まだ夏野菜も幸い残っていたことで救われました。

猛暑の延長は秋迄続き、照りの被害は秋野菜が作れず、蒔ても発芽せず。甲州玉蜀黍が照りの被害の大なる作物で、他の雑穀は見た通りで、私の最後の雑穀と思つています。関東は日照り、東北は雨で作物いかが心配ですね。十一日は真夏の暑さで翌日よりやや涼しく、早いが無肥料栽培の黍収穫しました。次はトウジンビエの熟したのを先にとりあげ、不揃い成績です。稗、ネパールそばは作りません。西原の秋祭りになります。秋雨の季が近づくようです。猪が暴れるようです。

280

(9/18) 丁度十二号台風通過で、祭りの終る日で、祭りは雨から続いて台風でした。被害はありませんが、猪や雀の大群で山付地方は方々が同様ときます。ジャガ薯の処理迄お願いして申訳ありません。不作でも取り上げ後の掘り出しです。

体力が続かず、春から粗放農業で不整地作りや無肥料作りで、収量を望むことより、畑を何とかすること、雑穀を一年延長することで、十日に観て戴いた作物です。是から収穫と秋野菜の作り直しや遅れても一応菜類は作ります。春の葱苗等の苗は遅ると越冬が難しいです。

ご配慮の件、追って改めて申し上げますが、十月七〜八日頃で結構ですが、たいへんご面倒を掛けるでせう。収穫など関係はどうでもいいですが、今度は秋雨の時期で天候が心配です。涼しくなつたので私の好季節です。

281

(9/29) 思いながらお礼遅れて了いました。九月十日 収穫前の雑穀を見つけて写真に撮って戴いたことは、実に有難い事でした。誠に感激の極みで

す。体調は悪し不安定な気候の上つい粗放農業になり私の七十年の最終と思われる。雑穀も五十日の暑さの夏で救われ(一部に照りの被害もあり)御覧の作物になりました。

ところが猪騒ぎと雀の大群の暴れる秋になり、イノシシは近く迄来ましたが無事でしたが、黍を取り上げ、秋野菜の植付け、蒔き付けに追われていました。僅五六日の差でした。ほんとうに有難うございます。お陰で無事な作物の写真を戴きました。・・・

次に、今度私に付てはご配慮誠に忝けなく、ご多忙の中を日程表まで作られ、私は別段支障は有りません。只知の通りの老体ですからご迷惑をかけるかと存じます。ご面倒なことです。お願いします。

私のもう一度、埋文センター・学芸大農園は訪れたい処で、この老体で実現は不可能と諦ていました。夢のような出来事に有難さで一杯です。

私の都合もなく、木俣さんとは相談で結構です。涼しくなつたので、何とか体の方は持つとおもいますが、是非雨にならぬことを祈つています。町までも久しくいかなない私で、あまりご歓待はなさらないでください。安孫子さんと木俣さんとゆっくり語れることも楽しみで、私は格別の支度もせず、畑にいくつもりで出かけます。それでは何卒よろしくお願いします。

最近書くことは仕事より大変です。西原小学校一二〇周年記念誌に寄稿を依頼され、苦労しました。私の大正時代当時の思い出でした。

282

(10/15) 今般は木俣教授と安孫子さんとで発案(十月七〜八日の一泊一日 降矢さんを送り迎えて、埋文センターの雑穀畑と学芸大の木俣研究室・実験農場見学)実行によりて、山村無名老人に前例のない賀寿会を催され、感激しました。まだ帰宅後も感激の興奮が残っています。特に賀曾利さん加わり一流人が三人揃つたこと嬉しいことで、久し振りで人里に出た猪のような私が雄弁になつたのです。私の生涯の光栄と喜びの日でした。厚く御礼申し上げます。

再訪は望みのなかつた埋文センター、雑穀の殿堂ともいふべき学芸大農園研究室これも亦感動です。僅の間に最初訪れた時より世界の雑穀を集め雑穀界の情報研究室で知ること驚きです。

金子さん・滝川さんの雑穀使用の最高料理の晝食も感激で、半身付随といつた私を眞の娘の如くに労わり下されました。沢山の土産、記念品まで戴、申し訳ありません。

八日帰りは車にも酔わず、教授と話しながら予定より一時間早く午後三時帰宅、三〇分ほど休まれて教授は帰りました。長い親交とはいえ、教授に送られたのは是も得難いことで、雑穀界の総帥ですから。

私の桃源郷と云う鈴木さん宅、折がありましたら、よろしくご伝声をお願いします。

九日 雨は止んだらしいが、疲れと興奮で半日、床で安静 午後より畑の見廻りと野菜採り、十日 雨模様 シコクビエ収穫畑の稲架に架ける。珍しい小鳥が是もかかった。余程餌が乏しいのでせう。 帰ると老妻は風邪でした。夏の疲れもあるでせう。三四日独りで仕事です。 私のトウジンビエは脱穀調整が終わったのに大学のはまだ出穂せず 同種というが妙だと思っています。大勢でしたから播種期日をば尋ねませんでした。

安孫子さん、ほんとうに体丈で行った私でした。御礼はトウジンビエの粉でも送る予定で 暇な冬になるかも知れません。猪はまだ出沒する話、雀の大群の残りがまだ居ますが、粟は無事でした。天気回復したので近々取り上げます。僅なソバ、種位取り上げました。

宿根ソバの自生地もお陰で見ましたが、私の宿根ソバも僅遅れた開花振りで、夏の暑さのためか、昨年より開花十日は早いでせう。実が沢山つくかも知れず、二年でも三年でも丹念に実を貯え一升位になったら 普通のソバを加え粉にして、試食してみたいです。その折は安孫子さんを招いて試食会にしたい。老人の望です。

十月はとうとう先輩が又 死去で、男性では西原の三番目になりました。金さん 銀さんに及ばずとも銅さん位迄はと云って笑われる私です。好天氣に恵まれ、十四・五日 ふる里祭り盛会です。

283 (10/21) 鶴水や まつりの灯うかべ 腕艇と

ご厚志の日より二日程経て好日続になりました。十四日ふるさと祭り前夜祭の灯を観に行ってきました。年に一回の夜道でした。

記念の写真有難く頂戴しました。多摩の縄文文化有難し、遺跡散歩と共に教科書です。帰ってから妻が風邪でした。あの粟は猪が通過しただけで、雀から最後までのがれました。独りで収穫でしたが、天氣が好く、稲架から外し脱穀までしています。

皆さんに試食できるように暮の餅つき迄に送るつもりです。白を庭に出すのが大変なので、ワラ叩き槌でたたいて粟と脱穀です。三内丸山で縄文人が自生の稗を石の上でたたいて食したことを思い出し、五一六〇〇年前と今日

の私と近代完備の大学研究室と対照も妙ですね。今日脱穀完了。賀曾利さんが新刊『一〇〇〇峠を越えて』を送って呉れました。

284 (10/30) 菊の香や 庭で栗打つ 日和かな

異常気象ですね。九十月は例年雨ですが、本年は照りで珍しい事です。お陰で再訪から帰り、あの雨は翌日は止み、・・・。例年は十一月下旬より脱穀調整ですが、シコクビエを残すだけで全部終了しました。粟は無事で・・・大豊作でした。暮迄には送ります。皆で栗餅食して下さい。

十四日ふるさと祭り前夜祭、十五日は西原芸術品の展示コーナーに観に行くと。書道のリーダーたちと“山晴の夜”の如く、とうとう雄弁になりました。戦死した一つ上友人の遺品の展示もあり、私の葉書があつて大騒ぎつきつけられたが、私は手にも取らず、五〇年前の恥しいボロがでて、今更驚き逃しました。また反省です。

紅葉は少し遅れます。赤は桜、黄はトチで、二三日曇ったが雨は降らず。今日快晴で十月は終わります。

285 (11/24) 雪虫を 土大根で 追う日かな

十九日 大根を三分の二収穫埋めて困大根、一日雪虫はじめて舞うを見る。一般は不作の様子ですが、大根、白菜見事な出来栄です。廿日四十日振りの雨、雷鳴で大降り 翌日より真冬の寒さで曇日。 疲れた体で干柴刈手枯しています。

286 (12/8) 糯粟 安孫子さんへ代表で送ります。鈴木さんにもよろしくお願

いします。珍しくもないでせうが、本年度の私の上作の雑穀です。世から離れて暮している私は、暮の忙しさも正月も格別のこともなし、日を樂しむ生活です。

埋文センターでの十二月二日 木俣教授の講演盛会の御様子でした。木俣さんの講演要旨有難うございました。資料は好い参考になります。何しろ世捨て人の老人です。講演会後の揃って団らんも楽しかったでせう。「山晴」夜を思い出します。私を一番よく知る人は木俣さんです。

私の句は、退屈の折の空白しのぎに作る句で、上手とかは考えず、その折の感じかしら。句については後日、また語るとしますが、老人の百姓は面白い事があり、収穫したジャガ芋畑より 後から三〇*も出ました。昨日も後から出ました。試食して下さい。現代の縄文人かも知れませぬね。

287 (12/15?)

「庭園の四季」には胸が熱くなります。再訪の日、エゴの実を拾う私は、現実にはそれを育てることはばかげた事は判っている老人ですが、心の一部にそうさせるものがあるんです。それは感激の現れです。さて、帰ってより快晴続で収穫したものを稲架にかけて干すと四・五日で乾き、雨を心配して脱穀・調整を急ぎました。例年は十一月上旬の仕事です。それを一ヶ月も早く済んだのです。秋としてこんな好天気続きは珍しいことです。脱穀機は使えず、曰は老夫婦には庭入れが重いし、シートを敷き藁叩き槌でとんとん打つての脱穀です。三内丸山で六〇〇年前、縄文人が野生の稗を集めて石の上で叩いたと同じですね。右腕は痛し雨はなし疲れやらで痛みやらで晴日を寝込んだです。シコクビエは残っています。

木俣教授はあれから奥秩父で環境教育担当教員の講習会、間もなく北海道沙流川域の調査、アジア太平洋環境教育シンポジウム、次々と多忙の様子。

山晴に來た中込青年は、十年前学生時代來宅した方で忘れませんでした。何処かに私を見ている人もあるんですね。・・・

蒟蒻玉を送ります。昨年は正月に脱穀した玉蜀黍、本年は粉にして長寿館に出荷、一部を送ります。暇な折。団子汁に、又はコメを入れてカユも妙です。小麦粉を交ぜて造り、冷えたものを味噌塗焼きのもいいです。

霜は十一月二日から毎朝 七日は初氷、雨は一カ月間夜のみ三回、畑は堅くて弱ります。まだ枯行く草木を刈って乾柴刈で傾斜ですから大変です。

288 (12/20)

着ぶくれて 日向の落葉 乾くおと

鈴木さんの立派な論旨 敬服します。喪中の由、十月にお伺いの折、挨拶しませんが一見した方のご他界だったですね。ご冥福をお祈りします。

金子さんも無事帰国、南支は稲の故郷でせう。元気に感服です。蒟蒻作ったり、球から造ったり、蒟蒻の通人ですね。それにしてもよく料理なさいます。私は食べる丈です。皆様にもよろしく ご無事の御越年を祈ります。

289 (12/30)

年はゆく 雪なき山は むなしけり

高尾山の頂上と同じ標高ですから寒いです。朝室内は一・〇一度、戸外は、〇・五度位でせう。ご多忙のところ、本年も高幡不動尊の曆を御送り戴き、忝く有難く御礼申し上げます。

縄文村の新聞取材何よりでした。私には印象深く感じられます。

現代の縄文人かもしれない私です。暮も正月も有りません。寒いと退屈するのみ、雪は嫌いですが、雪の何処にも見えぬ冬も怪しい眺めです。山蔭から短い日脚、痛む体で春暖を待ちます

平成八(1996)年 降矢86歳

290 (1/1)

年杖つきて山の端へ出る 初日みん(年賀状)

拜年 福来 春來 とうとう不用意にも人生の八六頁を汚すことになりました。

291 (1/30)

犬ごやの 白くなりたる 春の雪

もう二月になります、松本の研究会(「中部高地をとりまく中期の土偶」)が迫りましたですね。私の次女は松本より一駅離れた豊科ですが、昨四月新築完成祝に行く予定でしたが、とうとう一年経ちそうで、連れて行って貰えぬと行けぬ身が残念です。もう一度安曇野に行きアルプスの山を眺めたいですが。先月二十日の雪は五センチ位で、初雪でしぶつく雨と風花が舞う丈の冬です。日本海側や東北は豪雪続ですが・・・今は農閑期ですが、日中は運動を兼て堆肥原料集や乾柴運び 春の準備で、雪が無いから続けている次第。

四人(木俣・安孫子・金子・滝川)私の便り保存には有難いと思いますが、一面は浅学不徳の私ですから、旧悪露見と云った気がします。揃って残し置れしは、全く穴があつたら入りたいとはこの事でせう。及第点に達せぬ答案を読まれている気が致します。・・・

292 (2/22)

十六日から霧雨が雪になり、四日間雪です。三〇センチ以上積たでせう。私が七十年間に三度目ですね。季節ごとに多忙な事と存じます。半年

間の乾季が終り、是から雨期といった天候に関東は入るでせうか。二月は農閑期ですが、三月半ばより農耕開始ですが、遅れそうな予想です。・・・週に一回(金)出張の診療所で、外科医の来るときは注射をしますが、服薬は三年ですが年々強まる一方です。家居していると、夜半眠れず、暇はあるが気力は無くなります。脳細胞も減ってきたでせう。

一〇〇才迄として十四年です。七人兄弟ですが(存命は)兄と二人丈で、兄は九二才です。負けたくないですね。私の生きがいはいは孫の成長を一年でも長く見ることです。私も子供の教育費は大変でした。今度は倅の番です。嫁も今年は町へ勤めに通いだし、日中家は留守で、休日は用事です。

金子さん一行雲南視察で、南支からインドシナで作れば西原でも穫れるトウジンビエ、作らね理由判りました。彼地が眞の米の国で、一年中稲が穫れる土地ですから不用だったでせう。賀曾利さんのインドシナ紀行を再読して判明です。私がモロコシと同一栽培は偶然でせう。モロコシも生れはアフリカの由です。・・・。

又、安孫子さんにお願ひがあります。急がないで暇の折に、昨年九月私の最後の作柄を撮って戴いた写真でトウジンビエと私の写るもの、粟畑の近くの杉の木の根元で、二人で話した折の私の姿と、十月(埋文センター)再訪の折、木俣さんと二人でベンチ腰掛しているもの、都合三枚三部位 お願いのみで恐縮です。 遠い農友や雅友に折があつたら送りたいのです。

293

(2/27) 雪雪で かまくらのごと 犬のこや
・・・結構日脚は伸びたのに、寒は厳しく、農閑とはいえ閉口でした。私の部屋は電機炬燵のみで、戸外より五〜六度暖ですが、日中も四度、夜は一〇度で、戸外は一六〜七度でせう。

「たまのよこやま」発行早々お送り戴き、有難き事とお礼申し上げます。特に庭園の四季は、私を対象の事で感激しています。

知つての如く七割の輸入食で本年の稲は減反の時代、時代に逆行した私で、全く恥ずかしい生涯です。それでも杖に縋つても自力で有りたいたいですね。寒さに弱く、室内が七度位にならぬと腕もシビレ、お礼遅れました。雑穀をまだ送りたい処もあるが、本当に冬眠状態です。二日程日が出ましたが、夜又雪が降り、春雪か雨も交えたようです。四センチ位積り、廿六日は曇で夜はまた降りそうです。 雛を飾つたが梅も開かず。

次に、私の生甲斐の孫も大学、高校へ合格しました。親は大変です。倅夫婦も仲々で嫁も町に勤めに通い、日中は老夫婦といふことで、末の小五になった女の子が下校迄は電話用無し。それでも西原では羨望の家です。

金子さんは全く三面六臂の観音さまですね。器と稲と料理 独創的な飾りつけ 敬服するのみ、栄のトルフィーを獲得なされ、祝賀申上げたいですね。

木俣さんにはまだご無沙汰のままです。・・・これからの天候と私の体調はどうなることか？

294

(3/2) 畑のみち 春が来ている 露の臺
廿九日 半月振りに妻と山畑へ圃大根・ホウレン草を取に行き、露の臺を得て
早速味噌

で旬の味を楽しみました。日脚の伸と暖かさで残雪も解けます。

私も玉葱、葱苗はだめです。エンドウもやられました。 昨年三月早々に補種したらよかったです。春が遅い山蔭の土地はだめですね。

テレビで南房を見ました。花が咲き菜の花へ蜜蜂が群がっています。・・・都合がつけば五月半ばが好季です。 浅学、清貧、弱身、今春は何処まで気力戻るやら

295

(3/5?) (送られた蒟蒻玉に添付) 西原で生玉から作るのは十月か十一月から三月迄、それからは粉(西原農協でも半年ある)。蒟蒻も古い時代のもので、里芋の如く煮て食べたでせう。南方系と思います。今も南支方面から自然生のものが干され(荒粉)で輸入されています。

296

(3/11) またの雪 欠伸かみしめ 刻すう
二月の雪で半月雪に閉じ込められ、・・・雛節句が寒が戻り、。再度冬です。運動不足と持病の痛さで弱ります。 退屈ですから、節煙のため刻を併用しています。 政治も経済も騒然らしいが、今回の小地震は大月・河口湖・山中湖が深度5、当方は4位で、5の処は多少被害が有たそうです。

・・・越冬の葱苗・エンドウ・玉葱はだめです。それでもノラボウは元気です。

八日の雪は5センチ、後が曇りでしたが解け、翌日は晴れて又寒し。

先日珍しく老友中川さんが床屋に来たらしく、貴重なる藜(あかぎ)の杖を寄贈にあずかる筈があり、久し振りに声を聞く。私と同様、足が痛む由。・・・数少ない戦前よりの句友で猿橋の方も家庭には恵まれず、この老友に「たまのよこやま」送りました。・・・

297

(3/27) 過ぎしこと 問われるつらさ 老いの身は
二月の雪で戸外出ず、半月過ぎたら衰えて了つて気力なく、暖房のない部屋で寒く、日中でも四度が続き 七度にならぬと動けぬようです。 十八日暑い程で、この日梅が咲きました。でもまた寒くなり、暖になり、どうやら春ですね。 苦しみながら畑に出ますが、はかどりません。少しやれば疲れて、無気力です。 何といつても年齢でせいか? 杖に縋つても、人に頼りたくありませんことに努めています。今夜十三夜です。お詫びの便りを書きました。(『雪虫』所収)

「農の歳時記」校正)もう少し待つて下さい。春は遅れました。どうぞお体をお大切に

(4/16) 「略年譜」 「農の歳時記」校正戻しに添えて)

遅れた春も彼岸より春めき 十八日は高温で、梅がやっと開花です。・・・妙な事ですが、自分は気温四度以下の時は戸外に出ず、七度以上になれば活動することが判りました。虫のようで 虫も適温になれば冬眠から目覚める。その温度は判りませんが、廿一日 24度の日に黄蝶が舞い出しました。

廿三日 露の臺の花が咲き、採りに行くとい匹蜜蜂と出逢いました。

廿一日午前 秋九月に黍の種を届けたお札の晩に招かれたAM

さんが、本年は粟・日本稗の種を貰いに例の民宿に来ました。AM

さんは上野原芦垣(旧甲東村)の方で、秋は郡内近代史研究会の人達と大勢でしたが、今回は一人でした。小平氏役所の教委勤め文化財保存担当で、徳川時代の建物を中心に資料館でも・・・として、そこをおふるさと村にして、一角の空地に、一畝位に昨年の黍と本年は粟、稗を加えたらしく、展示栽培でせうか。埋文センサーに似る仕事といたしました。既に参観したとの様子でしたが、いずれ又再訪するでせう。先方では私の事を知っている様子で、当方説明不十分なんです。私の句を望み、どうも最後農人伝に書きたいらしく、今回テープレコーダーを置き、いろいろ問われまして、疲れたんです。安孫子さんたちと偶然似たことで、・・・。

次に廿一日は日当たりのよい処でカタクリの蕾の出で居るのを見ました。天候次第ですが、・・・十五日頃は咲くでせう。・・・

4-1日は細雨終日。今日は雨が雪に変わり、山は白くなりましたが、里は積もらず。三日晴れ午後曇風花舞う。朝は厳しい寒さで冬の様で氷も厚く凍る。断片的になりました。書出して一週間です。日記のような便りです。

東京の雀は桜の花の蜜を好み、花をチラシ落す。地方の雀はまだ知らぬ様子。然し鳥の名は知らぬが、西原では桜の蕾を喰う芽喰と呼ぶ鳥があり。今年はまだ調べる暇なし、花開は下旬でせう。

(4/20)

キャベツ枯れ わずな咲く 畑となり

四月は異常の不順で弱ります。当方は梅が盛り、桜はまだです。鶯が何と十三日初鳴きでした。カタクリも八日は咲きましたが、群生地はどうなりましたか、訪ねてみません。大霜があり、真冬のような日も来ます。

昨年お越しの節は桜も咲き、カタクリも咲いていたんですね。二月の雪依頼、体は不調の上、天候も不順ですっかり無気力で、例年より遅れた農作業をなりゆき任せにつづけています。どうなるか考えず静かに暮らすつもりです。只、急に思い出し、小麦は鳥の被害が無いようで、秋試作すれば良かったに、

春彼岸に隣畑の小麦を貰って、春植えにしました。完熟は遅れるでせうが、秋の試作の種をと思う次第。廿日小雨終日床の中です。

299 (4/27)

桜爛漫 陛下迎えて みよ栄え

例の山の桜満開の好日(「雪虫」表紙写真の日?) 桐原へ尊し陛下をお迎え

感無量の私です。遙か山かげで奉祝・・・

時に金子さん 突然お越し 畑で半日語る。里芋の種薯も蒔蒔も本年は寒にて

腐敗致し、結果は如何かと心配ものです。急ぐため二種の区別判定不十分です。

4-25夜 三日好日続で花に春が展開です。

300 (5/6)

きじは鳴いて 萌黄の山の 夏近し

山畑の傍に雉が来ました。廿三日 急激気温が上がり 晴天が続き 初夏の如き暑き日もあり、畑が乾燥して今春作ったものは発芽が悪く、二日は雨と予報でしたが僅か降たのみ。昨年のごとく雨が多いと思ったのは誤りか、全く今後どうなるか?

五月は雑穀を作る時期ですが、雨がないと発芽が悪いのに弱ります。

廿一日の催し、何よりだったですね。三日は庭園の蒔き付けの由。

里芋の種も蒔蒔 冬寒さか乾燥か腐敗して了ったんです。私の丈でなく、全般です。悪い種でした。結果が心配です。

孤独には慣れていますが、来る人も無し 行く処も無し 空虚な生活です。体調も悪し 折に触れ木の芽・草採って食べています。清貧に育っているから美食を好まず。生き残ったことは一面淋しいことですね。

連休は次男と二人の孫が帰り、五日それぞれへ・・・

301 (5/10)

木俣さんも廿一日は参加でしたね。段々親しくなり何よりです。来月ドイツからデンマークに行く由、日本というより世界的の権威者ですね。私とは遠くなりそうです。それにしても学徒の匂いの頃からの親交で妙な縁です。九月からインド留学だそうで、期間は知りません。きっとインドは二三回行ききました。その度土産を頂戴しています。

廿三日 陛下がご来県の日より好日高温で、桐原長寿館へご訪問の廿五日は私の桜満開でした。たしかに三日見ぬ間の桜かなで、金子さん一行に観桜を願ったんです。

五月に入ると低温で降りそう小雨で、乾燥した畑は発芽が悪く、今日九日午前中の雨で助かりました。彼岸位に植たジャガ芋がやっと発芽です。玉蜀黍も春蒔たものは皆発芽不良で、鳥が掘るやら、三月からは猿も猪も来るようですが、夏頃までは食べるものも無く、姿を消すでせう。今後どんな天候が来るか？不順な天候に追い打ちのような如き有様です。

南瓜、トマトもこれから植ます。家族も減り、嫁も勤めに出て野菜の必要も減ります。雑穀の普及種の保持を本年で打ち切り、然し家居は退屈ですから畑で過ごします。私の運動場であり、慰安所と社交所かも知れませんね。工商立国時代になった日本に逆行して生きた百姓七〇年、青春時代から百姓を嫌った私で、広い天地ではばたきかけた私です。全く過去の思い出したくない事ばかりです。

302 (5/17) つんつんと小麦穂を出し 若葉風 (試作の小麦の穂出ました)

不順の異常天候で百姓も弱ります。発芽不良と鳥が玉蜀黍を掘って発芽を更に悪くして、空畑になりそうです。

只今 南瓜・ナス・トマトを植る処、ジャガ芋は急に発芽し伸ばしました。どうも私も体調は悪く、畑には行くが、仕事ははかどりません。昨年十月(埋文センター) 記念に捨てきたエゴの実がやっと発芽しました。生えないのかと思っていました。

木俣さんは世界の権威者になった様子、益々多忙でせう。来月はドイツ、デンマークへ行くという。期間は知りませんが、九月はインドへ留学の由、面談の出来る日は遥かになりました。

雑穀は多少作るが、普及も種保持も終わりました。本年は気軽に淡々として過しますが、畑に出ることが私の生活で、運動、遊び、社交も畑ですが、訪れる人も減り、家居すれば退屈で、生き残ることも淋しいことです。

303 (5/23) 五月は平年並みの日は僅で、発芽や成育不良のものばかり。・・・

五日位は遅れているでせう。花が咲く頃は梅雨入ですが、低温と湿りが乏しいので、私の畑は堅く、耕すに大変です。腕や腰は痛し、鋤を使うも嫌になりました。杉の花粉は少ないが、視力は悪いです。・・・苦痛ですが畑で暮らしている私です。

父が死んだのは廿四才時で看取りもせず、三日目で死にました。その頃から失

意と困難がはじまりました。宿命か天意か、過去の事は思い出したくないことばかりです。

老人ですが、いつも前進しか考えません。故 T M さんのネパールの玉蜀黍試作二年目、春試作の小麦二つが成績好しです。

304 (5/27) 今年はどうにか竹藪に行きました。少し遅く 筍大きくなり過ぎ

たがご笑味ください。古い夏小豆 食べるかどうか？ 拙宅で何もあり、消費する暇のないのです。ここ二三日急に初夏らしくなりましたが、雨がなく乾いて、作物は発芽も意の如くならず、鳥は暴れ 空畑になりそうです。

305 (6/19) つばめの仔 巢へ戻るか 明日も又 (夕方まで若い燕飛

び交う)

庭園のエゴの花がそろそろ咲くでせう。昨十月の感激の心の記念のエゴの実が五本生えました。見守っています。

異常の天候と照りに弱い私の畑は、全く良好な作物は無く、野菜も駄目で、年々粗放農業と申せ 張合いもなく、気力もよく出ません。暑さに弱いので、六月初旬の暑さにもう負けて、体調も悪く、畑から戻ると疲れて読書する元気もありません。・・・

今も二月の涸水期と同じで、川の水は減水です。

306 (6/27) 急に世間離れの私にも新時代を感じます。まず輸入食七割で、お茶

をあまり飲まず、子供から大人までカン入飲み物が流行で、まだ飲用水はないでせうが。野菜は違っても、流しの八百屋が三日置きに来る。メロン、スイカ、胡瓜、ナス、南瓜、キャベツなんて持つてきて、食膳にもう旬の味は判らない。私も野菜作っては身が入りません。

冬から雨不足で畑はカラカラで作っても芽生えず 植られず、六月ご入来の畑の有様ですが、それで不思議と紅花ははじめて成績で一メートル五〇はあり、又、ネパールの玉蜀黍 驚く好成绩で、自然といふものの不思議を感じます。

6/18日 雨の子報 名のみ雨 19日は快晴 強風が吹き荒て、玉蜀黍、馬鈴薯倒伏、起こした事は仇かもしれず。24日 農友がサツマ苗の余りを二〇本有 難く戴き、瓶で水を注ぎます。もう遅いで出来ないかも知れぬサツマ薯ですが、細くても穫ると二〇本です。是もどうなる結果、偶然とはいえ、人の親切と自然です。その夜何月振りかで雨だれの落ちる雨が降り、翌25日 庭に水が溜まる。湯水した川もきつと増水でせう。終日好い気分でした。畑は珍しくよ

く湿り、穂もろこしを妻と植ました。暑い天気でした。一夜で作物は生氣を取り戻し、伸び出したようで、私も元気がでました。不揃いの作物もどうにか実が穫れるでせう。

本年は五月末から六月初旬に鳴く松蟬(春蟬)が鳴かず、蝶や蜂、害虫も少ないが、冬の越冬に死んだのか、雨不足のためか。是も珍しく初夏鳥時鳥は鳴くが、カツコウージヒシン(西原の呼び名?)は鳴かず。ただし小麦にはかからぬと思ひし雀が荒し、FM氏は網を張る。その雀の群は、本年巢立たた奴かと思ひます。鳩は昔からかかりますが、秋小麦を作る事は嫌になりました。是より本格の梅雨入り、八月上旬までの雨期かしら?

やっとインキや便箋が入手でき、不便ですが煙草屋も遠い。人に頼むので時にはなくなり、刻の粉を詰めて吸う。侘しさもあるが、考えてみると豊富過ぎるより不足することもあるが身にしてみる。

本年はトウジンビエやシコクビエの発芽が失敗し、トウジンビエは追蒔きしたから鳥にやられ、天意でせうか、四年目は僅しか植られず。粟・黍は発芽が悪く、黍は間引きして植てみようかと考えています。結果は好いとは思いませんが。私のマスコットは太陽と土でせうか。それでも真夏の太陽は逃避で、これからは雨と日盛りは家居多いのです。

それで甚だ恐入りますが、私のお願いを多忙とは存じますが、学研の古代史シリーズの『10人の卑弥呼がいた』と『謎の東北王国 三内丸山』の二冊を読みたいでせう。本年は書籍代は使わずあるんです。送料も含めて同封の五千円で足りると思ひます。お願い兼て

307 (7/5) 七月になりました。秋作(稲を加え)雑穀は夏至から十日位迄に植付・蒔付も終了せねばなりません。

週一回(金)に診療所に町立病院より医師出張で、私も久しく通っていて、外科医月二回でその都度注射を貰います。独りで行けたら週一回位町立に通いたいですが、それがむずかしい体で、最近町立に眼科もあるんです。

「たまのよこやま」「展示解説 多摩のむら」是また有難し、厚く御礼申します。……

次に、僅九年位の親交で私のため句集を編集して下さること、有難いですが、最木俣さんはまだ学生の句があった頃で、今は日本の権威者になられました。よく丹念に保存されたものです。二十年位になりませう。ともあれ句集のことはすこしの間ご容赦してください。……最近頭の細胞の減じたか、記憶と思考力も悪く、軽いメマイもあり、時には不眠症であり、百姓ももうほ

どほどで周囲の者に厄介をかけぬことも第一と思ひます。西原は短命の土地ですが、男性では生き残って三位ですから、自重したいとも考えます。――七月お盆です。何やらこころ忙しさも加ります。

308 (7/12) ……7日から三日間の雨は降ったりやんだりで、休養したら何

もできない状態でした。雨量も増水迄はだめでした。

今やっと先日戴た「多摩のよこやま」と「多摩のむら」に眼を通しました。生きてると欲張りなもので、又、庭園を訪れたい気がします。

面倒な書籍購入迄お願いし、身勝手に恥ずかしく思ひますが、早速ご送付お礼申します。八月は暑いので炎天ではとても畑仕事は無理ですから、日蔭で退屈しのぎに見ようと予定でした。然し今の私の意欲では読むかどうか? こうした縄文時代の一端を知ろうと考えた訳は、安孫子さんと出逢つて遺跡や出土品のことを学んだからで、私の晩年の進歩なんです。

浅学の私も木俣さんや安孫子さん達にもっと早く出逢たら良かったんです。きつと私も変たかも知れません。もう知ろうとしても学ぼうとしても老化して駄目です。又もつと私の全貌が判たでせう。知たのは私の晩年の一隅でせうと思ひます。

木俣さんにもご無沙汰して、元気で帰国の由、よく成果を得られたと思ひます。異常気候と鳥達の被害と私の老化で散々な年ですから、思う半分も実行できません。

309 (7/12) 海の日も 山のはたけで ジャガを掘る(暑中見舞い)

紅花 七月三日開花はじめ、七日僅花を摘採る。どうしたものか又開花期は雨で、雨中花盛りでせう。 成育盛りの良いネパールの玉蜀黍試作二年目 今台風はそれたので、本年は試食できるでせう。只今出穂で、八月中旬は収穫になる予想。御入所の折に出穂した洋種の方は、七月下旬収穫で、孫が休暇頃はと思ひます。ぼつぼつ私の野菜も出回ります。平年より半月は遅れるでせう。

公私ご多忙の処を、木俣さんの処へ三人ともお出掛け私の句集に付きご協議なされた御様子 誠に忝し。私の方は仲々意に添えずお詫び申します。

手紙にては選句も誤字の訂正も今の時分ではむずかしく、面談の上なら楽なんです。暑さに負け、体調も元気もないのです。三〇度超えると炎天では何もやれず、今夏は三七度(日中)位の日もあります。――盛夏の候ご自愛の程をお祈りします。

廿七日 中川さんの新築完成祝なれど 当日は家庭の都合で四五日留守不滞。廿一日に珍しく中川さん宅を訪問、祝意を表し三時間程。実に宅地は広く、立派に完成しました。中川さんも元氣ですが、病身の故か私の如く覇氣に乏しい。

310 (7/22) 自炊が危険で、七月末の四五日 町の団地に住む長女の処へ預けられ、帰宅すると翌日から夕立や俄雨が、午後は毎日で困りました。キヤルコーン は出来ているし、急で知人や子供に発送で・・・黍やトウモロコシも出穂していました。トウジンビエも遅蒔きですが、穂が出ていました。

八日 金子さんが沢山の心尽しの数々を恵與なされました。中に陶淵明の詩集もあり、

勉強を促された次第です。若い日 漢詩にも興味を持ったことは有りました。中川さん 7(27(土)) に新築完成祝をしました(火祭りです)。この祝をして新居移ります。疲れたでせう。三日後には立川共済へ行った様子。私も体調は悪く、服薬・塗薬・貼薬ですが若さは戻れず、頭も衰えきたようです。防除の網どこまで晴れるか、天意に従うのみです。

私の為に句集 皆で苦心して下さって有難いことです。特に公私ご多用の皆さん 評議して戴き汗顔 申訳有りません。―八月お盆です。そつちもこつちも心忙しいが思う丈です。そろそろネパールの玉蜀黍もできそうです。

311 (8/13) 「植物の世界」お礼申し上げます。

在宅中にとネパールトウモロコシ御笑味ください。穀は三米も有り、房の小さなにあり

れました。例の通り金子・滝川さんも含みました。ご面倒を乞う 南瓜も一ケずつにて

312 (8/18) まずかると 知らねで作りました。とうもろこし

二年がかりで試作のネパールの玉蜀黍 期待はずれで飛んだ失礼しました。楽しみにしていただけ がつかりです。ご帰省前にと大急ぎで発送したんです。木俣さんにも出発前と翌日発送。九月早々の出発で、来年の六月頃の帰国の予定との事、先年来朝の折に木俣さんと来宅したシタラム博士の大学で勉強との事です。土産話を楽しみにしています。

私のお盆は平凡でした。安孫子さんからの「植物の世界」、金子さんからの「陶淵明 漢詩、滝川さんからの「農業誌」 涼風に吹かれて日蔭で読ました。八六才の老人の勉強です。第三者から見ると妙な変人でせう。

313 (8/29) 防除網張りは暑いときはとても耐らぬので涼しい時間長くかかりました。無肥栽培でしたがバカにのびて脚(脚立?)を持ち歩き張、その折は雀の群が実入りだした穂先をつつき出してしまいました。何しろ竹の支柱を運ぶさえ大変なこと。日中はソバを作りで、木俣さんが出発準備中に三種類大量に送ってくれました。いずれも早生系らしく忙しいので説明ありませんが、私からお願いでした。私もソバ作りも最後でせう。暑い時ですし、毎年乾燥期です。本年は馬鈴薯の後作とキヤルコーンの後作で不整地作ですが、雑草除き 穀やゴミを除き僅しか作れず、二十四日にやつと終了しました。ソバは天候次第の作物で、霜が早いと駄目だし、早蒔しても台風で倒伏しても駄目だし、運任せの作物なんです。ここへ来ると一日を争います。大根は後にして、是からです。粟は出穂中でいづれ又網張です。白菜は苗植えて蒔いて置きます。

兎も角関東は渇水の年でいつもの流は二月頃の水枯れの有様です。畑も一週間照るとカラカラで、瑞々しい野菜は採れません。―ところで里芋と蒟蒻の成績は如何です。悪い種薯でしたから?・・・―異常気象で渇水時代と冬の寒さか渇水のため、蟬・蜂・蝶の虫類のすくなく、春蟬は鳴かず、熊蜂来ず、日暮、ミンミンも僅しか鳴かず。狐狸は稀になり、猪・猿で、鳥類は荒れます。雀の群が早々黍にきました。穂もろこし、トウジンビエは喰われきるか? (何日か思いながらかかった便り 久し振りで雨で休養)

私の句集に対し 御多忙中をたいへん配慮下され、私自身は氣力もなくお詫びします。私は若い頃は文学青年で、短歌の方で同人誌に(いろいろ)参加して、県下の歌友雅友は沢山ありました。詩も好きで、土井晩翠先生を敬慕し、私の処世訓を戴き、今も使っています。『強く正しく 朗に』左は愛用の判です。語ったことは無かったでせう。歌稿も整理し、沢山の同人誌も揃へ 歌集も作るはずでした。歌は農民歌人が好で、師事を仰いだ歌人もあり、関係のもの焼けて了ったんです。宿命に反抗した故だったかも知れず。漢詩を心がけた事もあり、郷土史に熱くなったり。

314 (9/4) 昨年御厚志(に)より十月学芸大実習地で花盛り蕎麦(を見学し)、

試作したいと考え、その後 木俣さんにお願ひした蕎麦種を、私も今年が最後だろうと、玉蜀黍と馬鈴薯畑の後作として、炎晝も蕎麦作り不整地蒔と雀のかけた黍の網張りを両方を併せて致したら、疲れと暑で体調が崩れました。幸に蕎麦が終った8(25頃より天候がぐずつき、いつも遅れた秋蕎麦の発芽が良くこの分では霜が遅れたら上作に行くでせう。暑さで一部は予定より五―六

日遅れたものもあり、大根の方は雨があつてから作り 例年より矢張り五―六日遅れました。フラフラの体ですから、人並みの半分もできません。雨があつてからは休養しますが、何の元気もなく、時折煙草を吸ってみる有様です。遅れた粟は穂が揃い、是から又、野沢菜、カラシ菜、ほうれん草など作りながら網張です。休み休みでない足腰が痛むので続きません。雑穀作りは無理になりました。―春から鳥類が荒れますが、けもの類は珍しく姿がありません。狐狸の防除は行ったが用無しでした。

宿根蕎麦は・・・―照りで弱つた里芋も回復しました。・・・十月半頃はご都合して、芋掘りに来て下さい。今から待っています。馬鈴薯 後作に大根を作り、今年も掘り残り薯が沢山です。昨年通り20キロ位は菜類を作ればなるでせう。百姓の是が余徳でせう。

金子さんよりトウジンビエ試作の成績写真見事です（成熟したら鳥にやられた）。陶芸の方に精進しているでせう。陶淵明の詩集はむずかしいですよ。世間離をした生活で、土地にある出来事も判らなくなりました。お盆もお祭りも私にはありません。敬老会にも出ず、只年に一度の十月のふるさと祭りには見に行きたい。それは 文藝 手芸 俳句 画 活花等の展示があるのを見たいです。九月は秋祭りが町から地区から昔から盛なんです。

315 (9/20) 背のびして どうかこうかと 黍へ網

九月は秋祭りが続きますが、私には関係が無いが、何やら侘しいですね。

14・15日は一宮の祭りで小学の運動会もあり、22・23は田和の祭りで、10・6 地区の敬老会 10/12・13 西原のふるさと祭りです。

硬種粉用の玉蜀黍は上作 収穫しましたが、9/19 黍で、トウジンビエや穂もろこしも被害で駄目、シコクビエは十月半ばでせう。春から鳥の被害ですが、けもの類は僅の如くです。涼しさが例年より早いですね。蕎麦作りで大根・白菜・五―六日遅れて造りました。

私は二〇―二五度が適温で、是から十一月半迄は凌ぎよい季節ですが、矢張り年齢からか百姓は無理で、疲れると何の意欲も有りません。

316 (10/2) 芋月の(15夜) 雨後の夜半 皓皓と (横書きの便り)

9/27 午前快晴・・・夜半は晴 中天に月有り 気温6〜7度 寒いので少し眺めて終る。夜露で光って美しかった。

雑穀は雀群と水分不足あつた如く、収穫皆無。雑穀の残骸を始末は張り合い無しです。硬種玉蜀黍は上作で収穫完了。惜しいのは蕎麦 花盛中を台風で倒

伏したこと。

木俣さん インドより9/25 第一報ありました。廿日程大学で、今度は方々を旅する様子 きつと成果があるでせう。帰国を楽しみ(にし)ませう。

老生は老化が強まり、動作は鈍くなりました。月見に里芋・甘藷を初掘りして供えました。是は上作。大根・白菜遅いが成績好く、他に蕪、ノラボウ、野沢菜、ほうれん草、カラシ菜で発芽上々です。年々自家用は減りますが、あまりです。●月以來 訪れる人なく、観賞用慈姑成績好いが、来年への保存(の仕方が)不明で閉口です。

317 (10/16) 天候には弱りました。収穫した物を稲架にかけたままで脱穀もできず、仕事は進まず、それに体は老化するばかりなんです。もう百姓を止め

たほうがよいのでせう。百姓をして書いたものなどの整理は無理で、暇があつても若い頃とは違い、手紙を書くが精一杯で、視力も能力も限界でせう。

10・12 雨の夜を祭りの前夜 祭の川の兩岸 川下までつく行灯の灯を慕つて行きました。杖を頼りですから傘を被れず、幸い小雨でした。幽玄といふか幻影か、川面に映じて流れている闇ですから 特に良かったです。帰途、雨激しく、スタンド(給油所)の前で祭へ参加の町の神輿が練りだす処に遭いました。是も雨の中の夜ですから神秘的でした。13日 祭の当日も行きました。天候は晴れでしたが、例年より祭は低調になりました。10/9 半年ぶりにOMさんが来宅、試作の慈姑を写真に撮って貰えました。霜に遭えば駄目ですから是で安心しました。拙宅では越冬させる方法が問題です。

九日ソバ刈り始め日です。宿根ソバは花盛りになる処です。平年は十月中に霜が来ますが本年はいつになることか。

318 (10/23) 十九日は好日でした。ご忙殺の処を御入来感謝します。・・・心の通う畏友と語ると、自分の事のみ申し上げて誠に申訳なく、―毎日妻と会話のみにて珍しいこともなく、退屈しているためであり、多弁になるんですね。本年の収穫の秋が御覧の通りで、徒勞に終わりました。これが百姓の実体でせうが。

知つての通り元気ですが、体の方が駄目で、頑張つてもどうにもなりません。若返る訳には無理ですね。

晴日が来て仕事も段々減りますが、乾柴刈りが問題です。蒔蒔にはどうしても柴が必要です。・・・急に短日を感じます。霜も間近でせう。

二十日投票に妻と行き、帰りに祭りの後の川辺を久し振りに歩き、知人の家に

茶呑に寄り、午前中は遊びました。老夫婦の西原では最高齢です。故に連れだつて投票に行きました。倅せということとせう。十九日より雨が多く、午後は軒下で玉蜀黍の脱穀を少し行う二十日の私です。

319 (10/29) 初霜の 黍粟がらへ 薄すらと

初霜が廿七日にとうとう降りました。「たまのよこやま」有難く頂戴致します。縄文土器作り、乾きはいいでせうが、焼のは夏で大変ですね。—中川さん元気で新居移られてる由ですが、細君の亡きことは侘しいでせう。大根も菜類も美味はこれからですね。旬の味がいいです。私の好物の和菊の中輪が咲きました。毎年天ぷらや酢漬を楽しみます。見ることもより食べることもいいです。ソバも脱穀してみると五分作です。—感受性が強いのでせうか、平穏な気候ならいいが、地震や強風の折は前もって体に障り、近頃特にひどく、特に初霜の時は伏す程です。霜の後は天候も崩れることが多く、焦っているが体調はだめです。老夫婦の百姓は年とともに低下するのみです。

植林時代は秋田杉、木曽の松、京都の北山杉の視察を思い、続て屋久島の縄文杉、白神山地のブナ林に、次には雑穀の起源地に変わりました。現在は三内丸山や中国の長江文明を追う私になり、テレビ、新聞で新しく出土品や遺跡について読むことが楽しく、一度も接したことのない砂漠の幻影はないのです。寒くなると二月に菜の花 桃の花咲く房州や伊豆を憧れます。生きている間は夢を追い続ける私とせう。二八日は雨、近所の菊花見に半日でした。

320 (11/12) (水ぬれ汚れ・読めるところだけ)・・・多雨の秋 晴天は少なく、収穫したものも乾かず・・・稲架に架けたままです。あれから忙しい毎日とせう。・・・掘れず、約束の蒟蒻も掘れません。軒下で・・・脱穀して一部製粉所に依頼しました。・・・冬は間近ですが、全く・・・一回で晴れると毎朝とせう。十一月まだ寒くも耐え・・・月末からは寒さで虫の如く冬眠です。三内丸山や長江遺跡の追求でもしてみたいが、そんな元気もなく。・・・文化も崩壊期に入った気もしますが、短日で夜が長く・・・もあります。老人は孤独ですから。・・・久し振りでペンを執りました。

321 (11/26) 晴日の乏しい秋で、まだ畑の稲架に架けたままのものもあります。僅な里芋の種薯をやっと埋めました。寒で痛んで又失敗かと心配です。雨で秋野菜は腐りますが、私は今年としては珍しい出来栄で白菜収穫です。一

日位の照りで翌日しぐれて乾かずです。蒟蒻を掘る日もなし、軒下で玉蜀黍脱穀や種もの整理などで、雨読といった気にもなれず、隠棲の身ですから、友の事をなつかしんだり、悠々した気分にもなり切れません。11/23曇 24晴です。去る17(火)に中川さんで法要があり、久々で新居に送り迎えて行きました。約二時間でした。四十五年ぶりの方ばかりで、話は尽きませんが、二時に帰宅。何しろ知つての体で、日没前でないと寒くなりますので。中川さんも足は痛そうでした。

322 (12/1) 秋しぐれ 炬燵で猪の 話など

蒟蒻やと掘りました。お暇の折、蒟蒻を造り(加工)して、それをやってみてください。他の人は作れぬでせうから。猶十一月頃から年内は球が充実していて味が良いので、年が明けると本格の味が落ち、乾燥した粉製品と大差が無いと思います。

(柚) 木は随分大きく元気もいいが、二年続け柚は一つもならず、夏の照りか? 柿は降りらしい。貧しい土地ですね。

本年は 雑穀は収穫無しで、何も送れません。例のネパールの玉蜀黍製粉しました。長寿館に玉蜀黍粉出荷したので 一部をご笑味して下さい。小麦粉か米の粉に三割位入れて、餅、まんじゅうか、薄焼はどうぞ。粥に少量渉入れてもいいでせう。何しろ穀類では世界で三位の由。冬至用の南瓜も加えました。食することが出来るかどうか?

11/28 青山学院女子短大AO元教授、五月に分譲(して以来音沙汰なし)の種の成果を持参。バスで短日ですので一時間話しました。誰も忙しいのでせう。誠に敬服しました。

一日朝 室内五度で、戸外は四―五度低いです。十時頃迄は動けません。雪が来ないので助かりましたが、水が凍り、仕事は山積ですがもう駄目です。

323 (12/23) 今年こそ 今年こそとて 年終る

冬至になりましたね。私は毎年冬至の落日を見守り、年の最終日とします。今日も眺めながら、どうにか一年過ごせたことに感謝して独り感無量になり、涙がでました。

こうして一年無事だったことは、安孫子さんたちの厚い真心だと感謝しています。来る年もどうぞよろしくお願いします。

私は歩行が大変になりました。近頃の朝の室内は四度寒に弱いので着物を替え、六―七度にならないと仕事は駄目です。明日が私の元旦です。明日は初日

を押します。